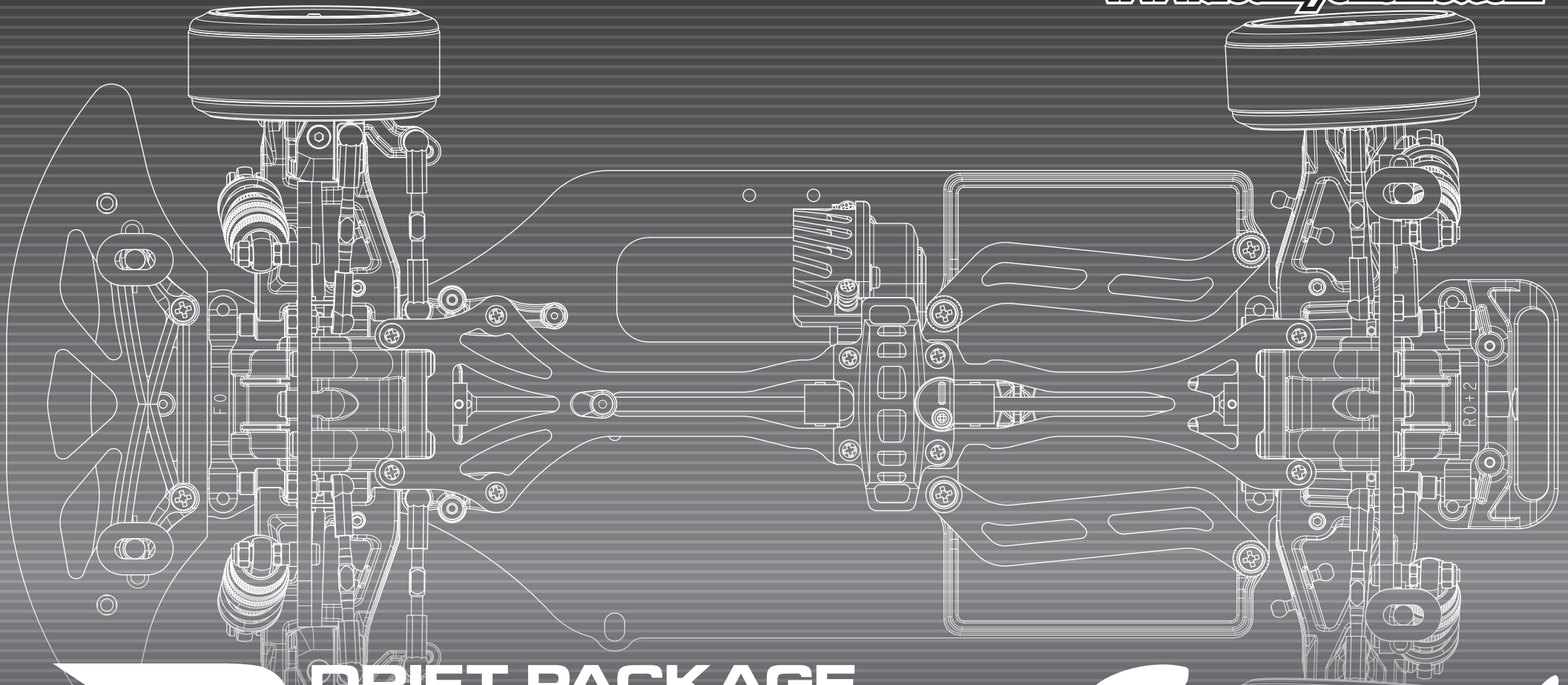




DRIFT PACKAGE
D MAX

Special

1/10 SCALE EP DRIFT CAR CHASSIS KIT

この度はヨコモ製R/Cカーキットをお買い求め頂き、誠に有り難うございます。このキットは、ワールドチャンピオン メーカーであるヨコモの高性能・競技用R/Cカーです。
本説明書に従った正しい組立・安全な走行をして頂ければ、誰でも手軽に楽しむことができます。

Thank you for purchasing this Yokomo product. This high performance competition kit has been proudly manufactured by Yokomo - World Champion R/C car manufacturer.
Proper assembly of this product will provide fun, safe enjoyment.

R/C カーを安全に楽しんで頂くための 注意事項

お子様(中学生以下)が 組立・走行する際は、必ず保護者の方が付き添い 安全を確認して下さい。

組立の注意

- 幼児のいる場所では組み立てないで下さい。小さな部品を飲み込む等、非常に危険です。
- 組立の前に必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などがあった場合は、ヨコモ アフターサービス部までお問い合わせ下さい。
- 組立の前に説明書を最後まで読み、全体の流れをつかむと効率的な組立が出来ます。
- 組み立てる際は、様々な工具が必要になります。安全の為に必ず作業内容に合った工具を使用して下さい。又、カッターナイフ等を使用する際は危険を伴いますので、注意して下さい。
- 部品には様々な素材を使用しています。切削加工された金属パーツ等はエッジが鋭く、慎重な組立が必要となります。ケガをしないように注意して下さい。
- プラスチックパーツなどを切断する際は、切断した部品が飛び危険があるので注意して下さい。
- 回転部や駆動部は出来るだけスムーズに動作するように組み立てて下さい。
- 配線やコード類はきれいにまとめて下さい。回転部分や走行路面にコードが接触すると危険です。又、配線は確実に接続されていないとショートなどの恐れや、性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- 必要以上の分解、改造をすると、安全性が低下したり走行性能が十分に発揮出来なくなる場合があります。
- 塗装は、周囲に火気の無いことを確認し、換気の良い場所で行って下さい。

走行の注意

- ヨコモ製R/Cカーは競技用の為、時速40kmを越える速いスピードが出るモデルもあります。ルールを守って安全な場所や、R/Cカー用サーキットで走らせて下さい。
- 公道等、周囲の人の迷惑になるような場所では絶対に走らせないで下さい。
- R/Cカーは電波を利用する為、何らかのトラブルで最悪の場合は暴走する事があります。狭い場所や室内は避け、出来るだけ広い、障害物のない場所で走らせて下さい。
- 周囲にR/Cカーを走らせている人がいる場合は、電波が重ならないように、周波数を確認し合って、安全を確かめて下さい。
- R/Cカーは水を嫌います。雨の日や、水たまりのある場所で走らせると、R/Cメカが壊れたり、暴走する危険があります。
- R/Cカーの駆動部分、ギヤやベルト、タイヤなどは高回転で回ります。バッテリーを接続した後は危険ですので、回転部分に手を触れないで下さい。
- 走行後のR/Cカーは各部が高温になる事があります。危険ですので冷却期間をおいてから、メンテナンスなどをして下さい。

走らせる手順

- ①タイヤが空転するように、台の上にR/Cカーを置きます。
- ②スピードコントローラのスイッチがOFFになっている事を確認してから、モーターとバッテリーを接続します。
- ③送信機のアンテナを伸ばし、スイッチをONにします。(送信機の電圧が下がっていると危険です。常に電圧の高い状態で使用して下さい。)
- ④受信機のスイッチをONにします。

走行終了手順

- ①スピードコントローラのスイッチをOFFにします。
- ②バッテリーの接続を外します。
- ③送信機のスイッチをOFFにし、アンテナを縮めます。

バッテリーの取り扱い

(バッテリーに付属の説明書に基づき使用して下さい。)

- バッテリーを充電する際は、周囲に燃えやすい物のない安全な場所で行って下さい。又、高温な場所での充電も避けて下さい。
- バッテリーの充電中は充電状況を常に確認して下さい。充電器の誤動作などで過充電すると、最悪の場合は発火する危険性があります。バッテリー温度が50度を越えたら充電を中止して下さい。
- 走行後のバッテリーは高い温度になります。連続使用するとバッテリーを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから充電して下さい。又、走行後のバッテリーはコンディション放電する事によって、性能を持続させる事が出来ます。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てずに、お手数でも電池専用の回収箱に捨てて下さい。

モーターの取り扱い

(モーターに付属の説明書に基づき使用して下さい。)

- 7.2Vのバッテリーでモーターのから回しをすると危険です。モーター内部を破損し部品が飛び出す事も考えられますので、もしモーターのブレーキインをする時は、モーターをしっかり固定し3~5V程度でから回して下さい。
- モーターは定期的なメンテナンスが必要です。劣化するとスピードが出なくなったり、走行時間が短くなります。定期的にクリーニングしたり、ブラシが減ってきたら交換する等のメンテナンスをして下さい。
- モーターの性能に合ったギヤ比を選択して下さい。ギヤ比が最適でないとモーターの性能を十分に発揮出来ないだけでなく、他のR/Cメカを壊す原因にもなります。
- 走行後のモーターは非常に高い温度になります。連続走行するとモーターを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから走行して下さい。

PRECAUTIONS FOR SAFE ENJOYMENT OF YOUR R/C CAR

For children under the age of 13, parental guidance is recommended when running.

ASSEMBLY PRECAUTIONS

- Do not assemble around small children. The parts can be dangerous if accidentally swallowed.
- Check the contents carefully before assembly. Please contact Customer Support if you happen to notice any defective or missing items.
- You will find the assembly process much easier by carefully reading through the manual, and familiarizing yourself with the instructions.
- Many different tools are required during assembly. For safety purposes, please use suitable tools. Exercise extra caution when using a sharp tool such as a hobby knife.
- Many different materials are used for the parts. Use extra care when handling parts with sharp edges, such as machined metal parts.
- When cutting plastic parts, watch for any flying parts.
- Try to assemble any rotating parts or drivetrain parts as smooth as possible.
- Bundle wires neatly away from the ground or any moving drivetrain components. Make sure that all wires are properly connected to prevent shorting.
- Unnecessary modifications may be unsafe and hinder performance.
- Always paint in a well ventilated area away from flames.

PRECAUTIONS BEFORE RUNNING

- Yokomo R/C cars are built for competition use, and some models may exceed speeds of 40km per hour. Practice common sense and run the car in open safe places, or R/C car tracks.
- Do not run the car on public roads with high amounts of traffic, or in areas that may cause an inconvenience to people in that area.
- R/C cars are controlled using a radio frequency. In a worst-case scenario, radio interferences may cause loss of control.
- If others near you are running R/C cars, confirm that they are not running on the same frequency.
- R/C cars do not like water. Avoid running on rainy days, or areas with water puddles. Exposure of the electronics to water may cause loss of control or damage to the electronics.
- The drivetrain of an R/C car consists of many moving parts like gears, belts, shafts, and tires. Avoid touching these areas when the battery is connected.
- Many parts of an R/C car will become hot after running. Allow the parts to sufficiently cool before conducting any maintenance.

BEGINNING A RUN

- ①Place the R/C car on a stand so the wheels are off the ground.
- ②Confirm that the speed controller switch is OFF, and connect the motor and battery.
- ③Extend the transmitter antenna and turn the switch ON. (It is unsafe to use a transmitter with low voltage. Make sure that the transmitter batteries are good before running)
- ④Turn the speed controller switch ON.

FINISHING A RUN

- ①Turn the speed controller switch OFF.
- ②Disconnect the battery.
- ③Turn the transmitter switch OFF, and retract the antenna.

BATTERY USAGE

(Carefully read the instruction included with the batteries.)

- When charging batteries, make sure that the surrounding area is void of anything highly flammable. Also avoid charging in high-temperature locations.
- When charging batteries, frequently monitor the charging it catch on fire. If the battery reaches 50 degrees Celcius or more, stop charging.
- Batteries will become hot after running. Continuous use of the battery pack may result in damage to the cells. Allow the battery too cool down before re-charging. Using a battery conditioner after running may prolong the life and performance of the battery.
- Please do not discard old battery packs in the trash. Although inconvenient, please locate a battery disposal center.

MOTOR USAGE

(Carefully read the instruction included with the motor.)

- Connecting a 7.2V battery directly to the motor can be very dangerous. This may cause the internal parts of the motor to break apart, causing some parts to fly out of the motor. To break-in the motor, safely secure the motor and run the motor at about 3-5V.
- Motors require periodic maintenance. Slower speeds and decreased run times may indicate a worn-out motor. Periodically clean the motor and change the brushes when needed.
- Choose a gear ratio that matches the power characteristics of the motor. Using a gear ratio unsuited to the characteristics of the motor will not only prevent the motor from performing at its optimum, but may even cause damage to the other electronics.
- Motors will generally become very hot after running. Continuous running will reduce the life of the motor. Allow the motor to sufficiently cool between each run.

【組み立てに必要な物】

ACCESSORIES AND TOOLS NEEDED FOR [DRIFT PACKAGE D-MAX SP] ASSEMBLY

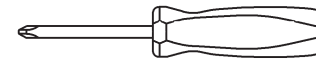
■ 走行の為に別にお買い求め頂く物 ■

ADDITIONAL ITEMS REQUIRED FOR USE (NOT INCLUDED IN KIT)

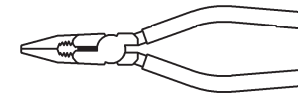
- 2チャンネルプロポ（1サーボ 1アンプ仕様）
**TWO CHANNEL R/C SURFACE RADIO SYSTEM
AND ELECTRONIC SPEED CONTROL**
- 走行用7.2V セパレートバッテリーパック
7.2V SIDE-BY-SIDE BATTERY PACK
- 走行用バッテリー充電器
BATTERY CHARGER
- 走行用モーター
MOTOR
- タイヤ(タイヤ付キットは不要)
TIRES
- 走行用ボディー(ボディー付キットは不要)
BODY
- ボディー塗装用カラー
BODY SPRAY PAINT

■ 別途用意する工具 ■

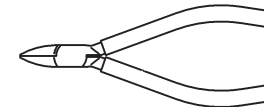
ASSEMBLING TOOLS REQUIRED (NOT INCLUDED IN KIT)



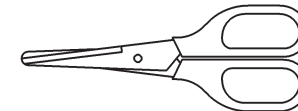
ドライバー（大,小）
SCREW DRIVER (SMALL & LARGE)



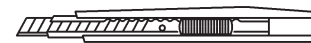
ラジオペンチ
NEEDLE NOSE PLIERS



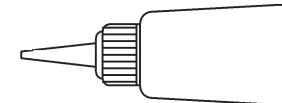
ニッパー
SIDE CUTTER



ハサミ
SCISSORS



カッター
HOBBY KNIFE



ネジロック剤
SCREW LOCK LIQUID

■ キットに入っている工具 ■

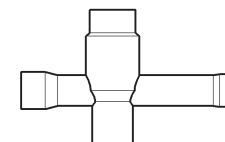
TOOLS (INCLUDED)



六角レンチ
ALLEN WRENCH
(1.5mm & 2.0mm)



ターンバクルレンチ
TURNBUCLE WRENCH

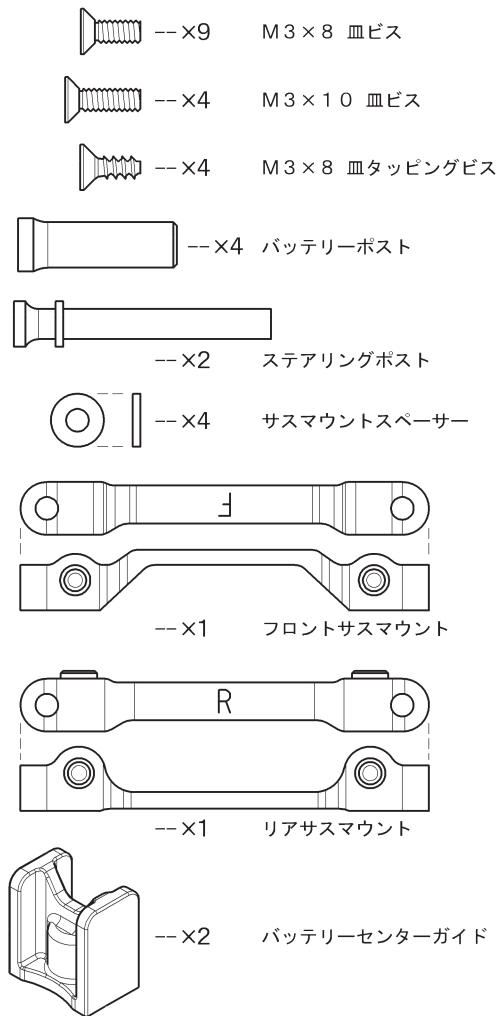


十字レンチ
NUT WRENCH

[DRIFT PACKAGE D-MAX SP]の性能を十分に発揮させる為にイラストを良く参照し説明の順番に従って確実に組み上げて下さい。

For assembly, follow the figures and the instructions closely so that your [DRIFT PACKAGE D-MAX SP] will perform at its best!!

【袋①の内容】

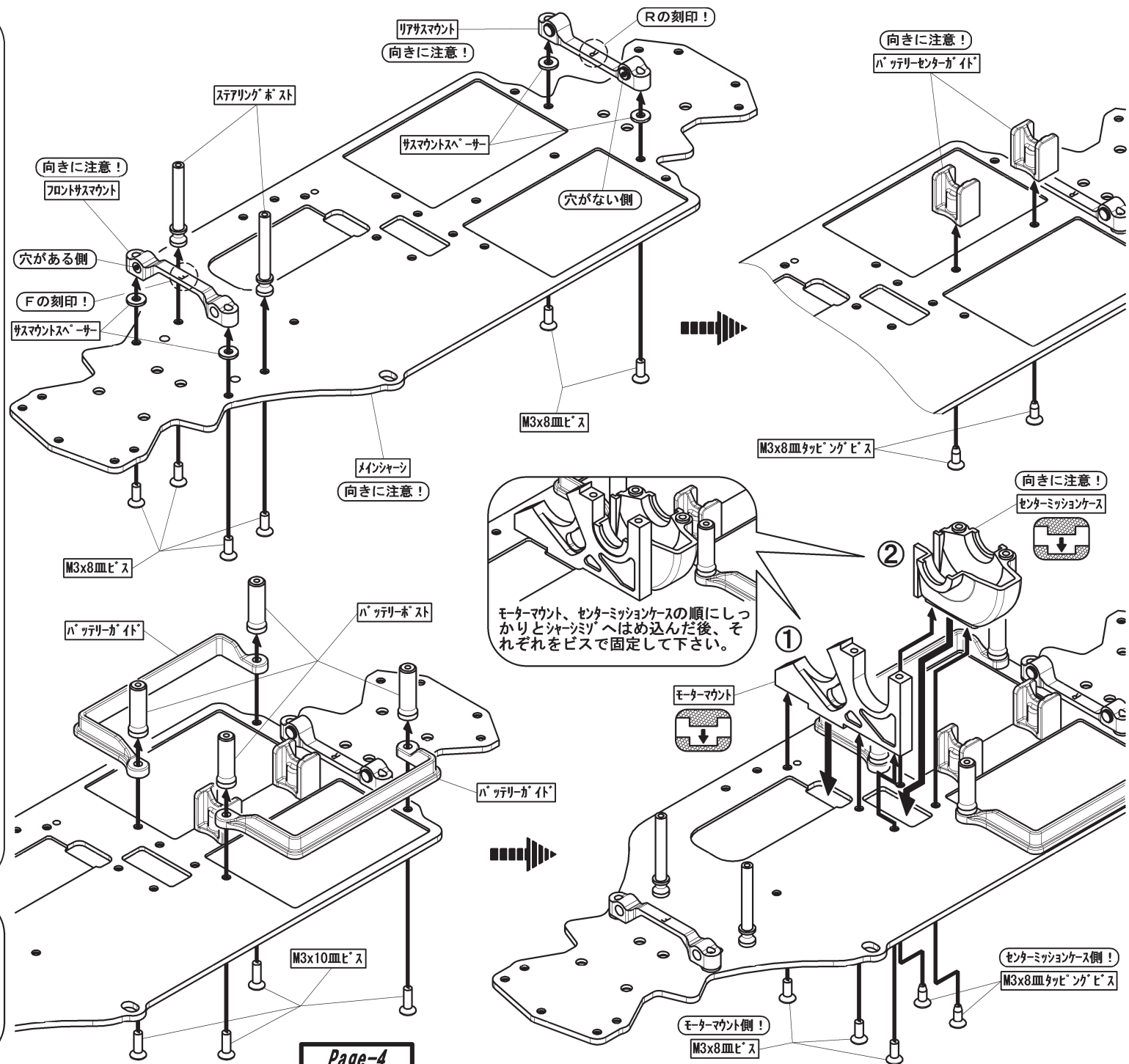
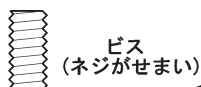
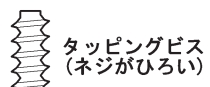


その他、センターミッションケース
モーターマウント 各1ヶ
バッテリーガイド 2ヶ

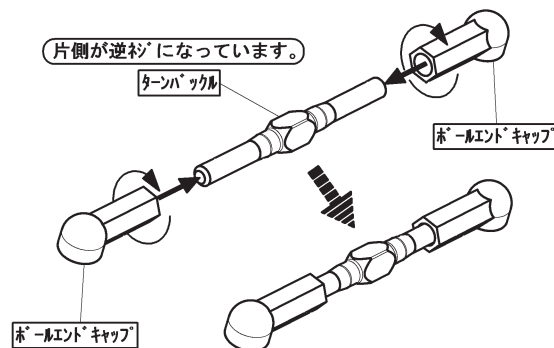
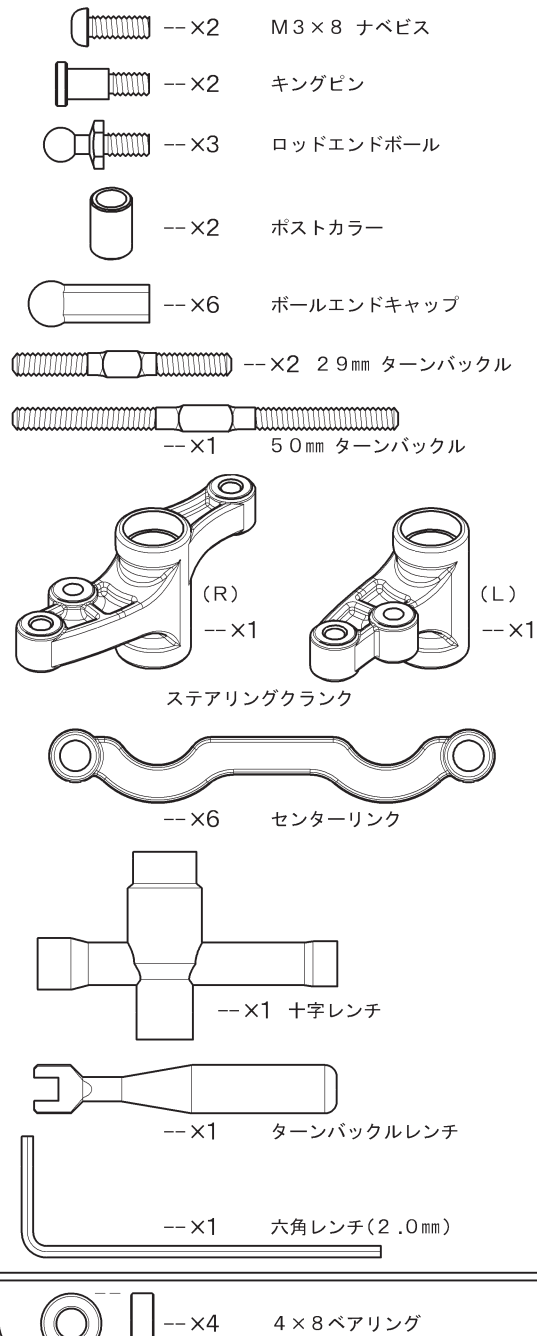
【取付け前にちょっと注目！】

キットにはネジ部分が違う2種類のビスが入っています。
使用箇所を間違わないように十分注意して下さい。

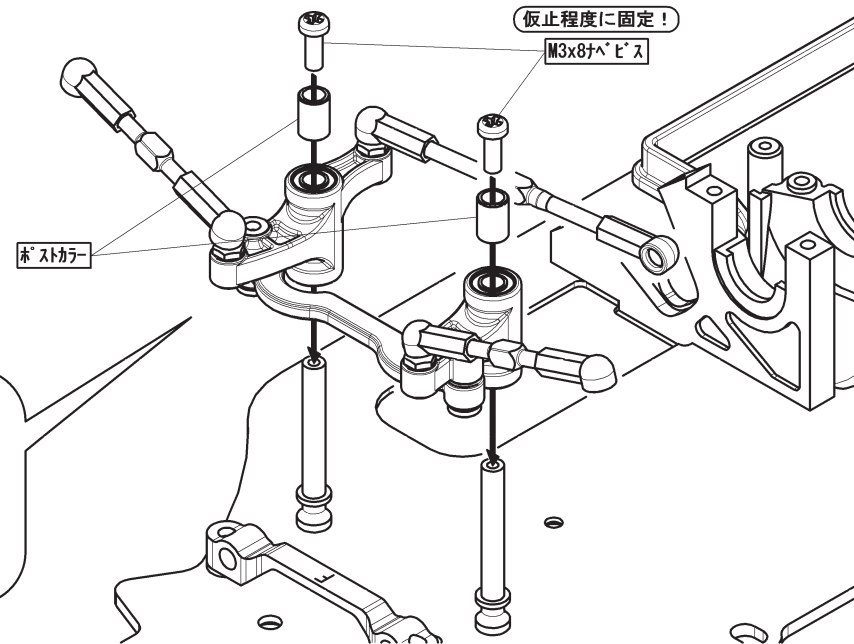
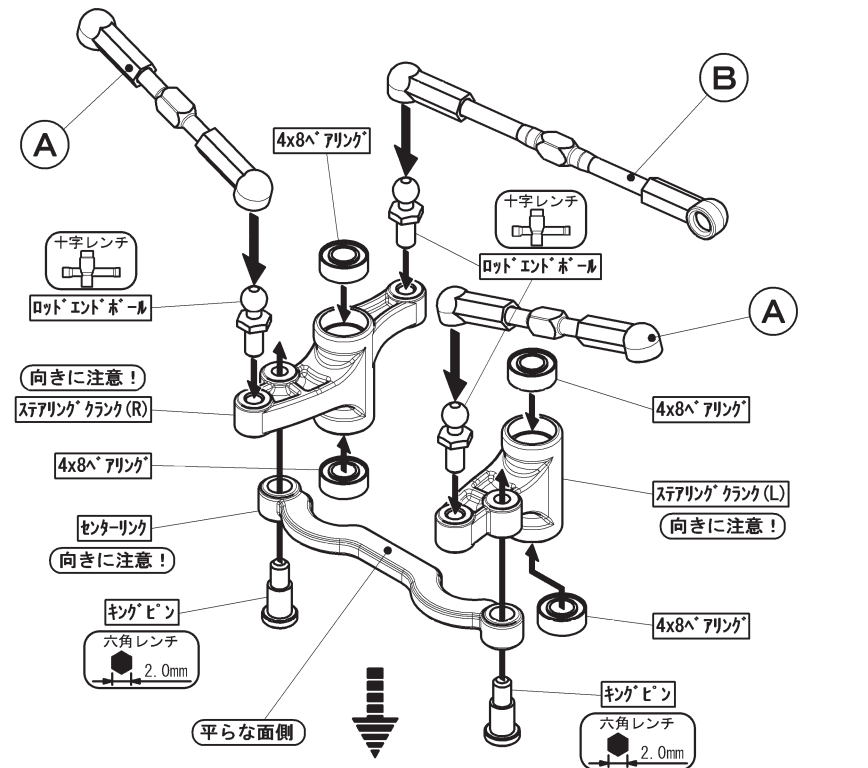
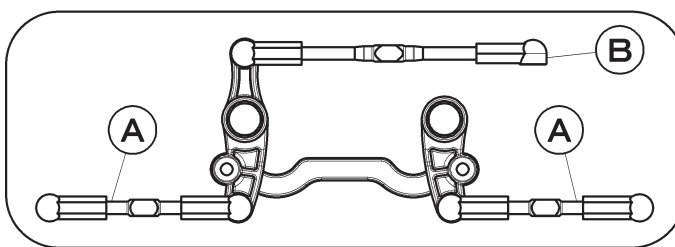
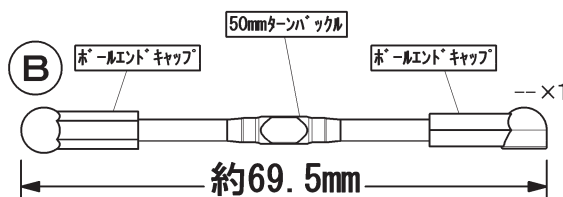
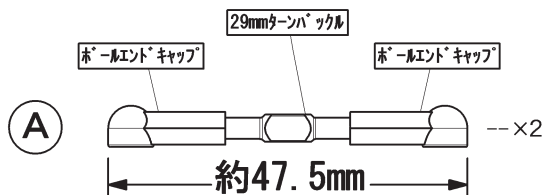
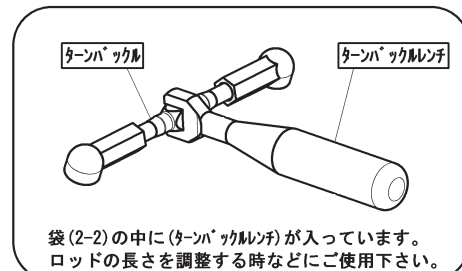
※金属パーツにタッピングビスは使用できません。



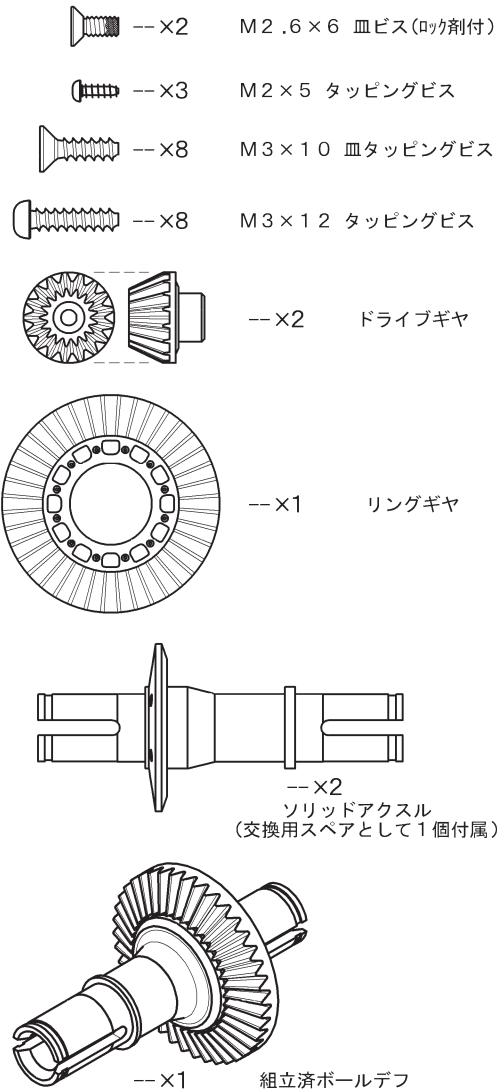
【 袋② の内容 】



各ターンバックルの両側からボールエンドキャップをねじ込みロッドを組立てます。

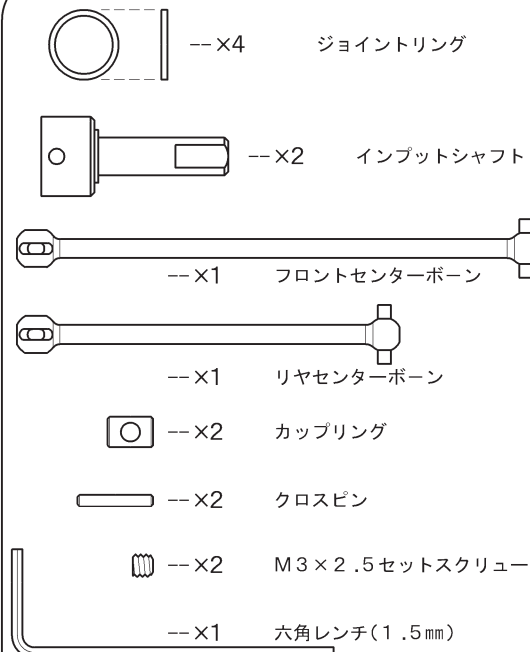


【 袋③ の内容 】

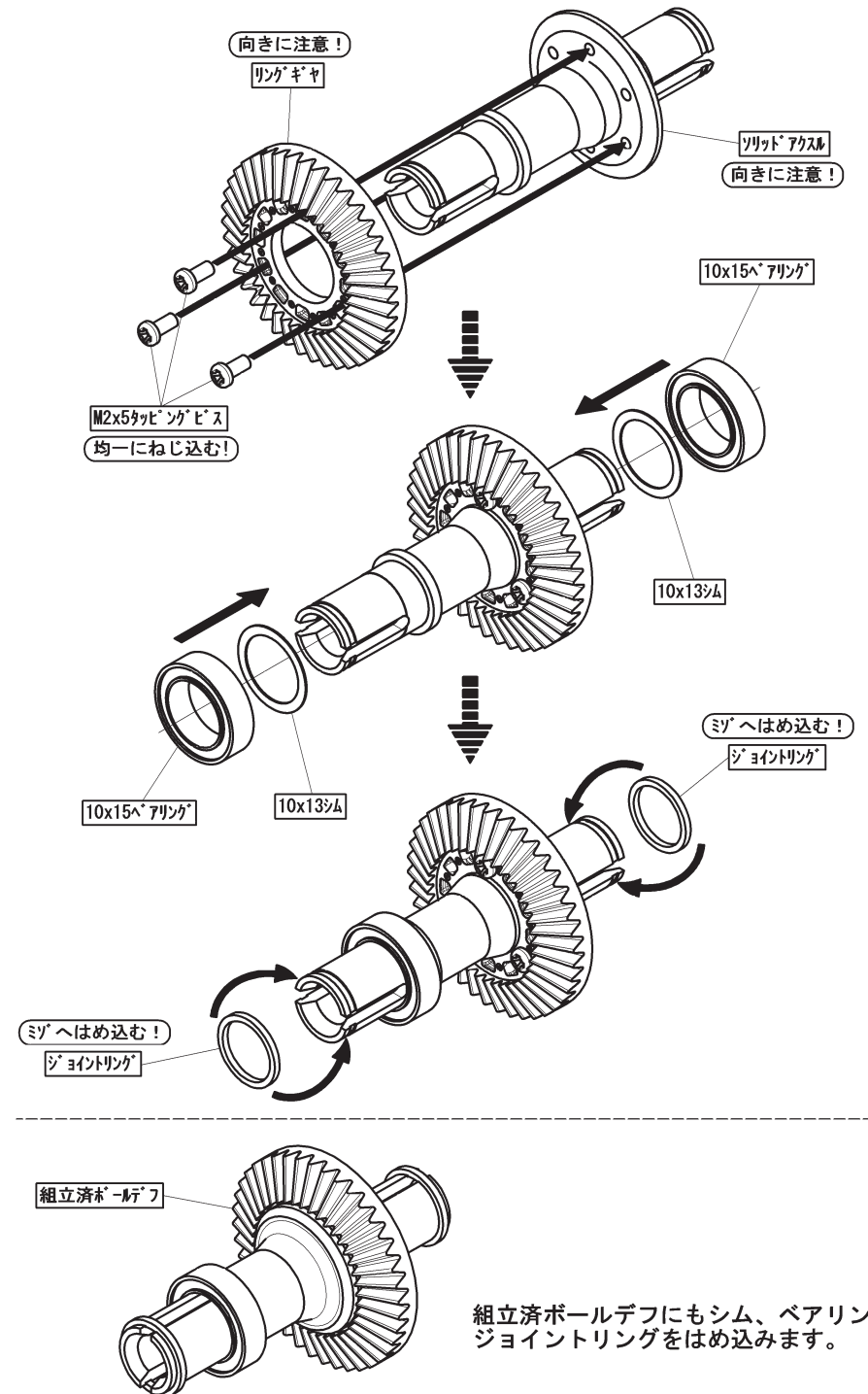
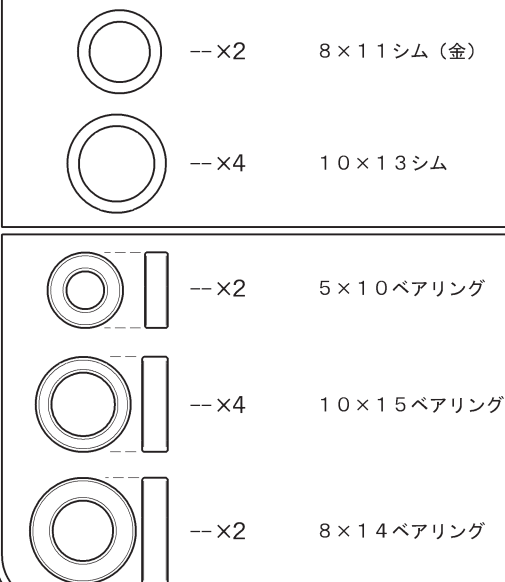


イラストのように組立済で1ヶ袋詰めされています。

本キットのボールデフは組立済ですが、多少の調整を必要とする場合があります。次ページの「ボールデフの組立て方」を必ずお読みいただき、ボールデフのしくみを理解しておいて下さい。なお、メンテナンスなどで分解、交換時には、「デフグリス CS-DG ●480」と「ブラックグリス CS-BG ●480」が別途必要になります。
(ボールデフの動きが悪くなると走行性能に影響が出ますので、定期的なメンテナンスをお勧めします。)

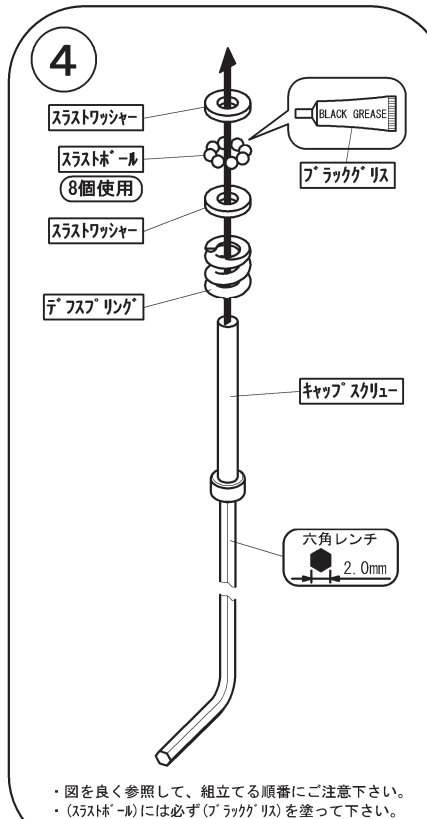
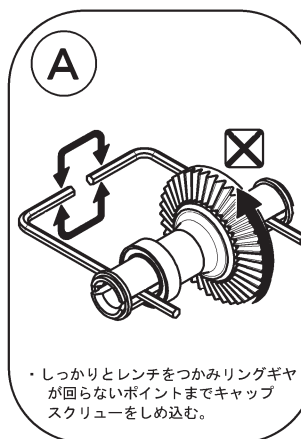
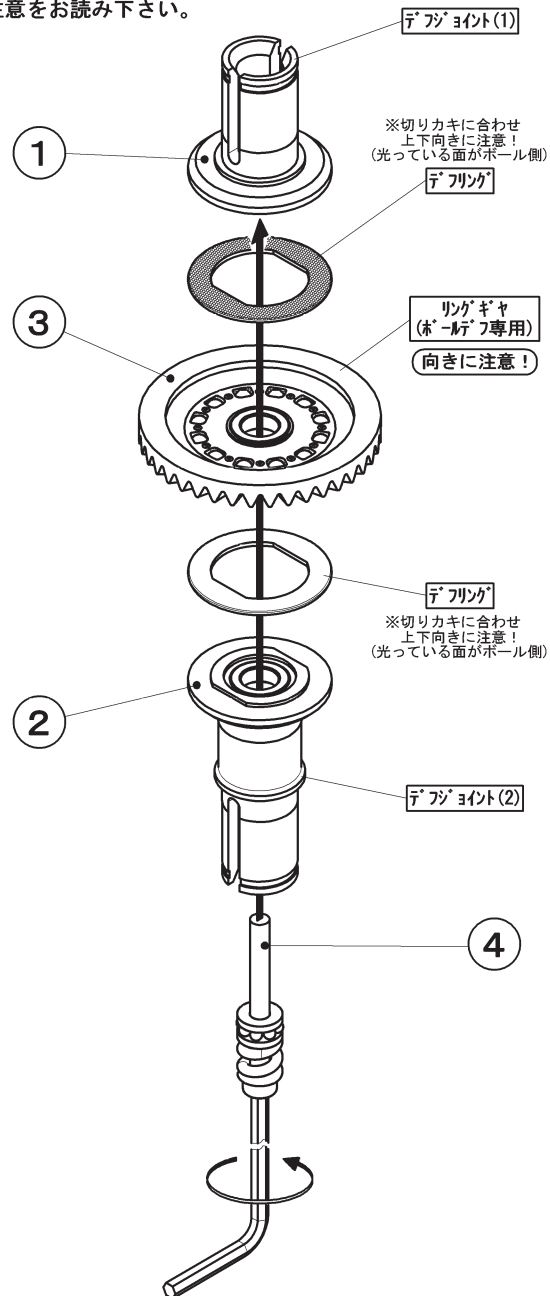
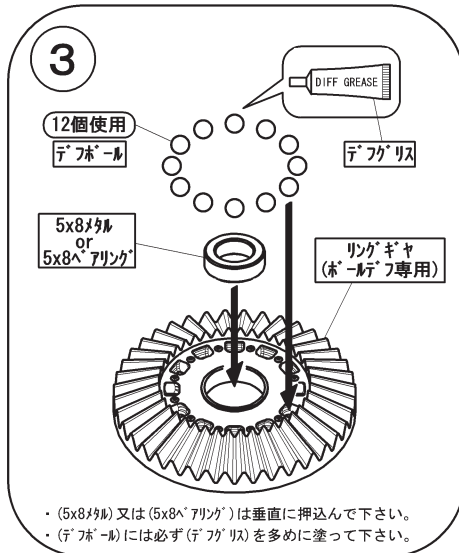
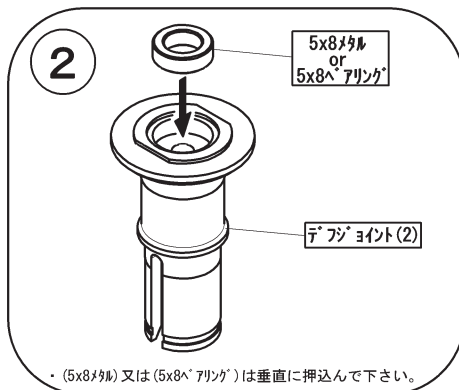
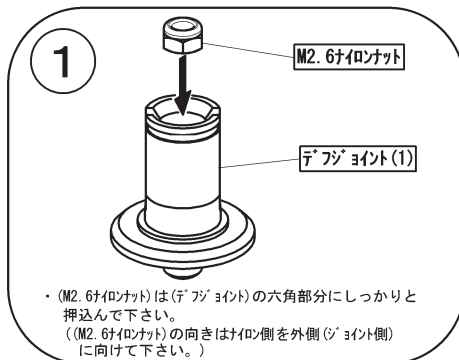


その他、ミッションケース、マウント 各2ヶ
ジョイントグリス袋 1ヶ



〔ボールデフの組立て方(メンテナンス)〕

※ボールデフの組立てを始める前に、必ず注意をお読み下さい。



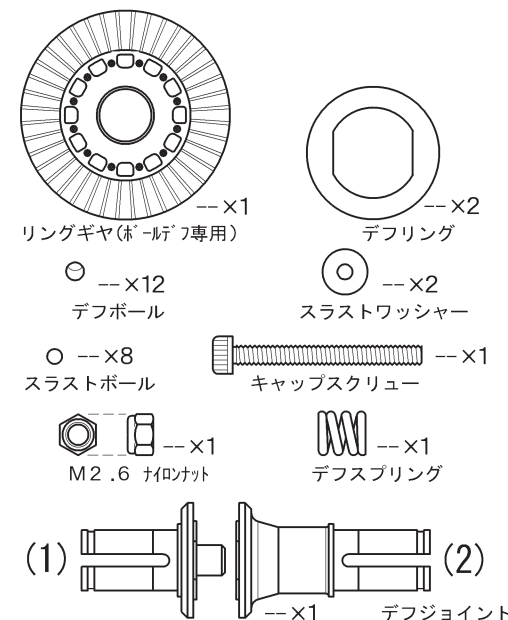
注意! ①(デフリング)、(デフボール)にはサビ止め用のオイルが付いています。そのまま組立てるとスベリの原因になりますので、クリーナー又はシンナーなどで必ず脱脂を行って下さい。

②(デフリング)には上下の向きがあります。必ず曇りがある面をデフジョイント側、光っている面をボール側に向けて組立てを行って下さい。

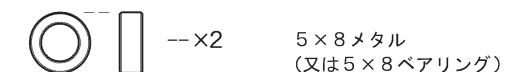
③(デフボール)には(デフグリス)を、(スラストボール)には(ブラックグリス)を必ず充填して下さい。

④(キャップスクリュー)を締込む目安は、図(A)の様に両方のジョイントにアレンキーを差込み、手でしっかりと固定した状態でリングギヤが回らないポイントまで少しずつ締め込む様にして下さい。
(この調整は目安ですので、実走行でスベリが出ないポイントまで、締め込んで下さい。)

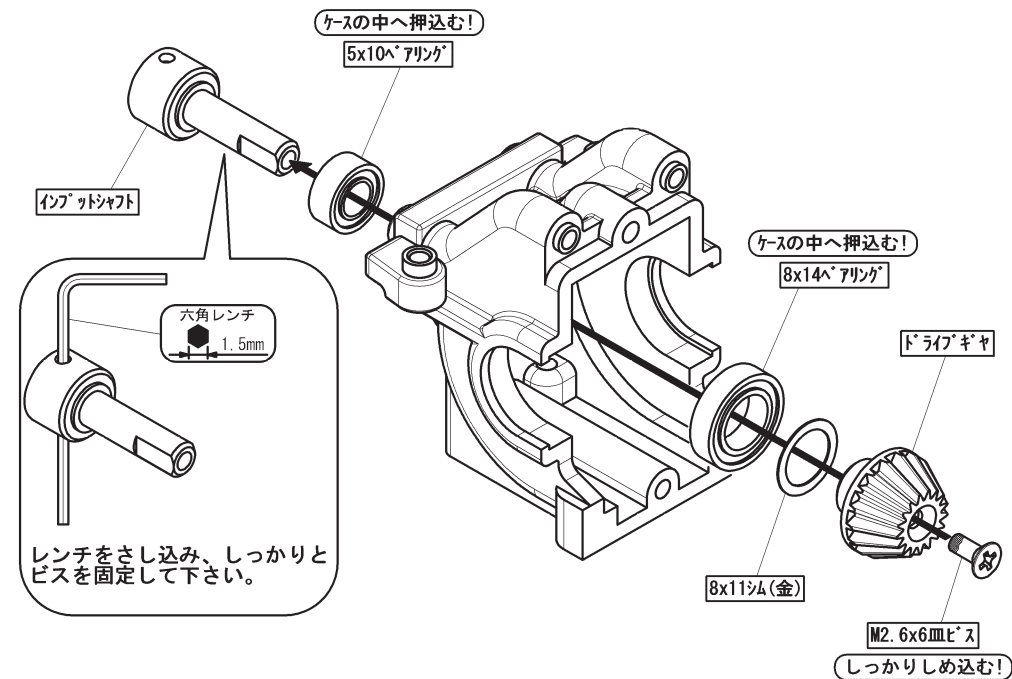
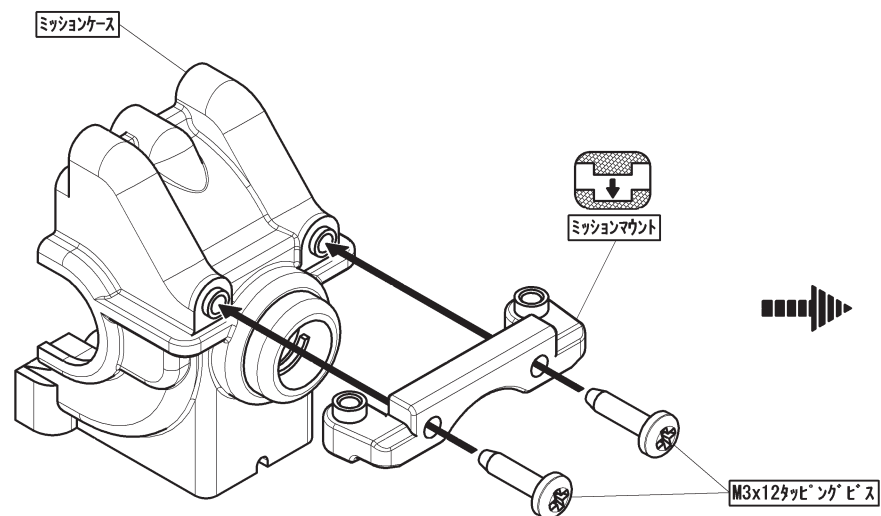
〔ボールデフ構成パーツ〕



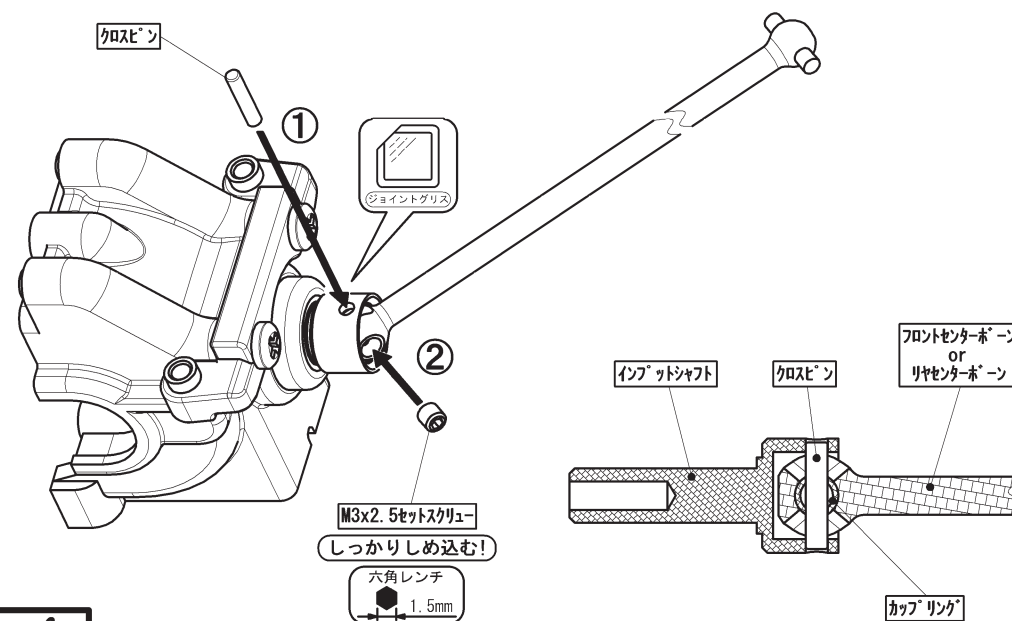
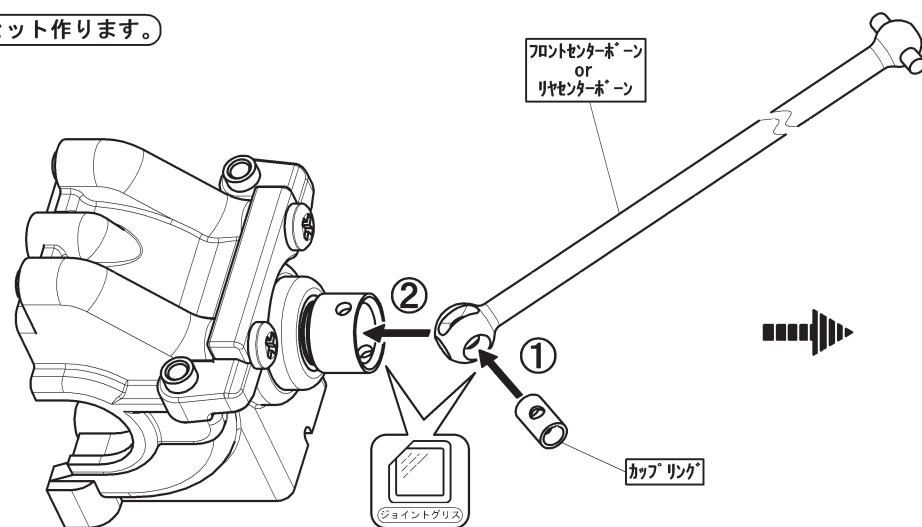
その他、デフグリス、ブラックグリスが必要。



2セット作ります。



2セット作ります。



向きに注意！
組立済ボールデフ

ミッションケースキャップ

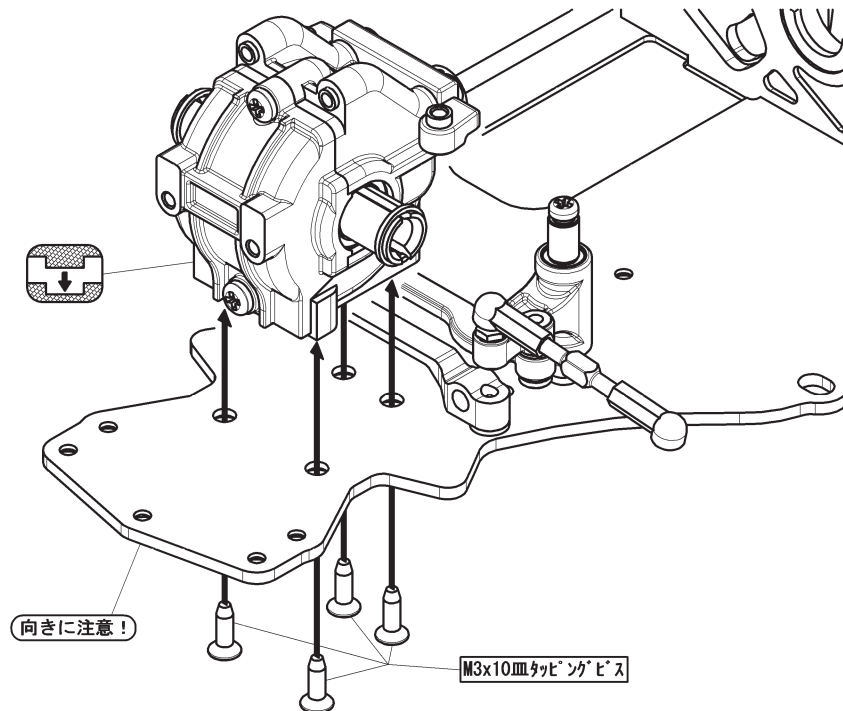
M3x12タッピングビス

向きに注意！

M3x10皿タッピングビス

フロントミッションケースの組立て

フロントセンターボーンを付けたミッションケース



向きに注意！
組立済ソリッドアクスル

ミッションケースキャップ

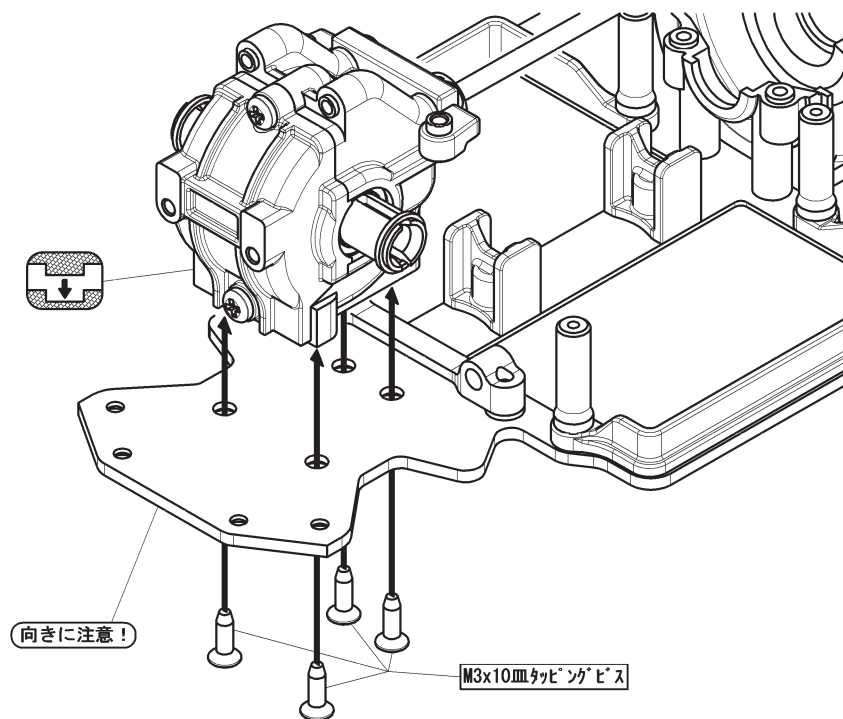
M3x12タッピングビス

向きに注意！

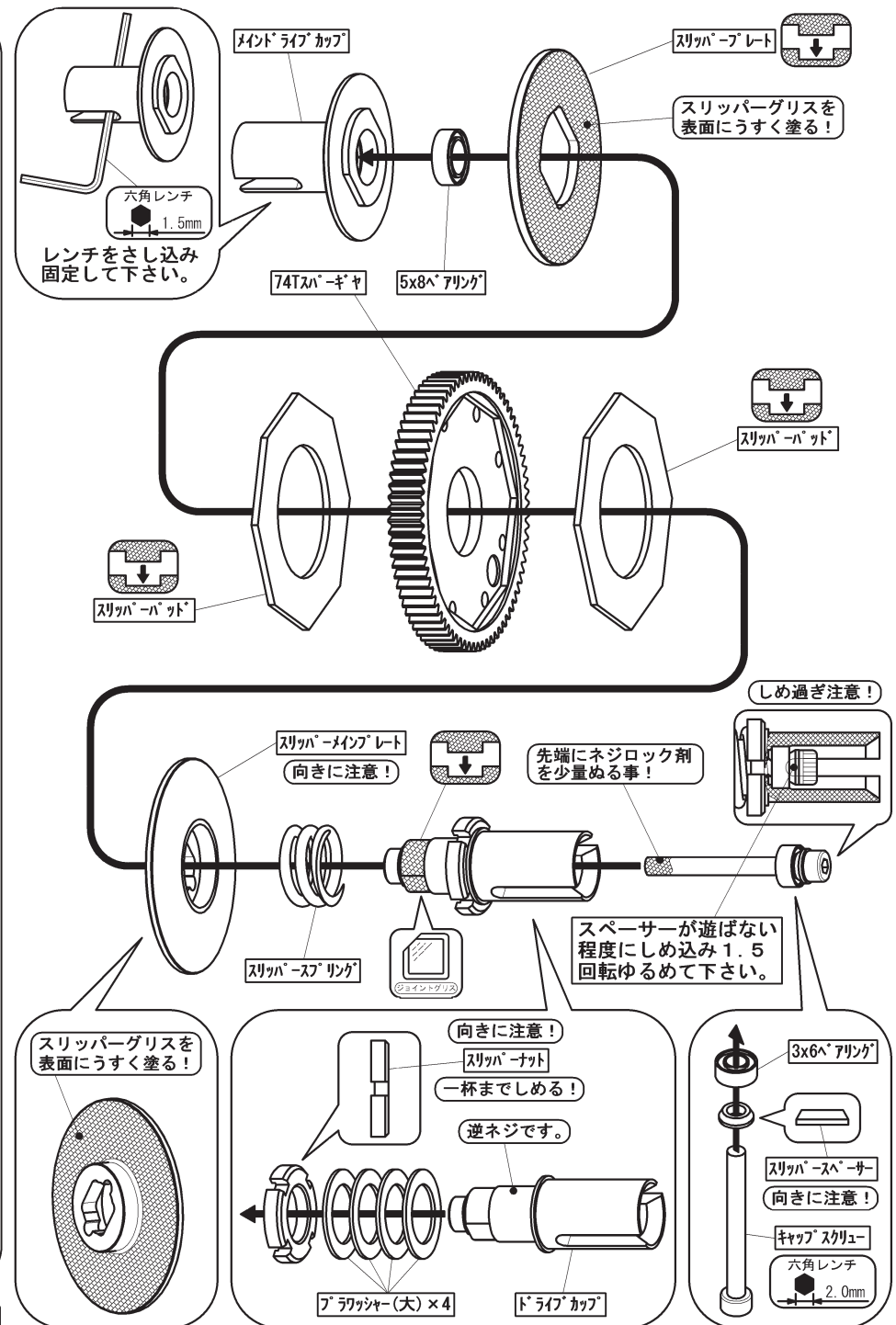
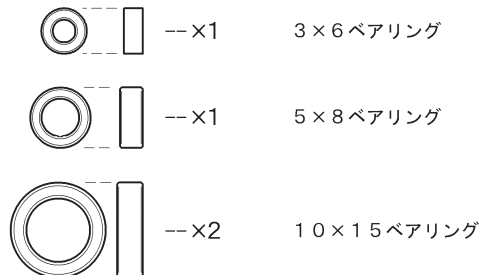
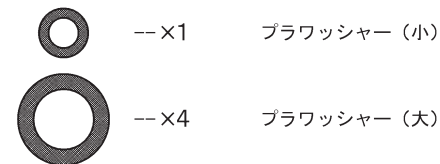
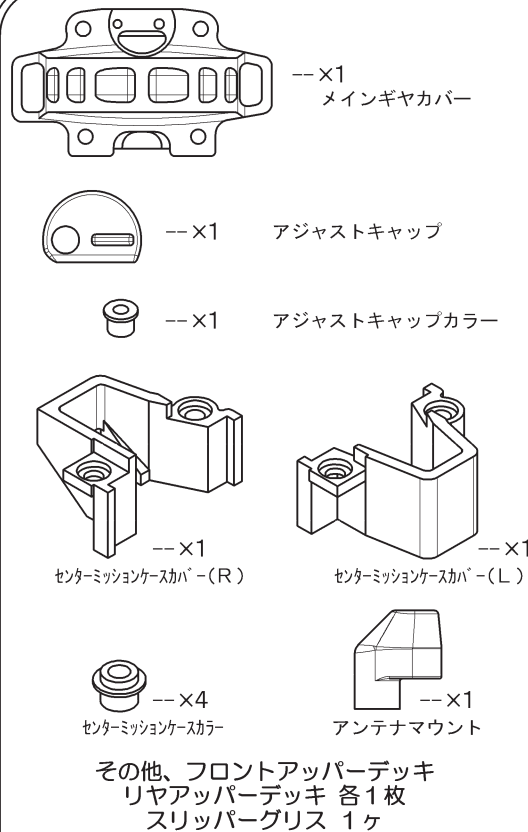
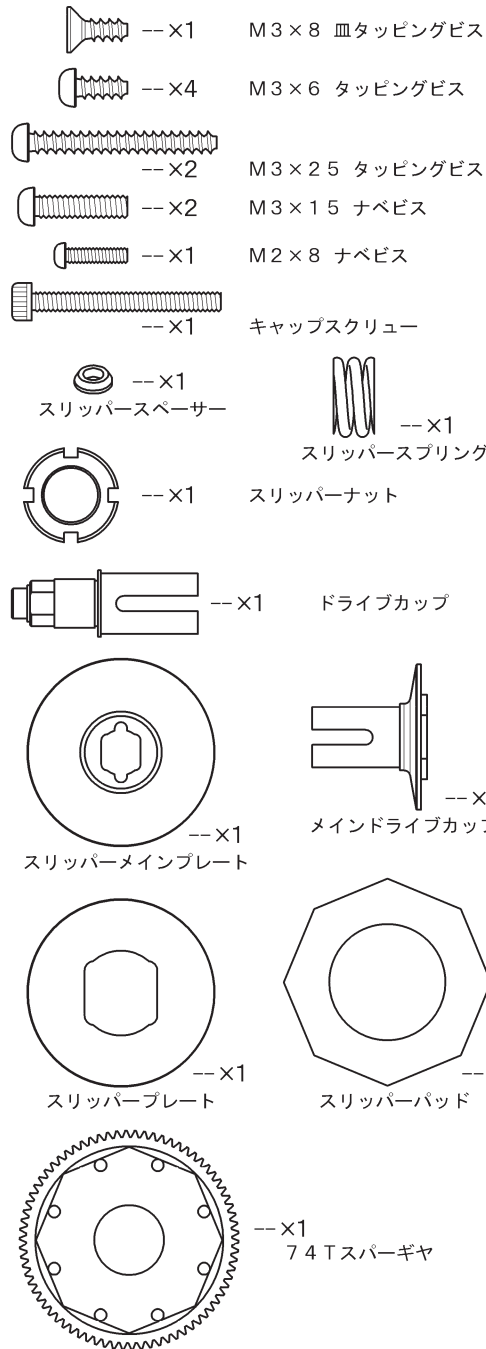
M3x10皿タッピングビス

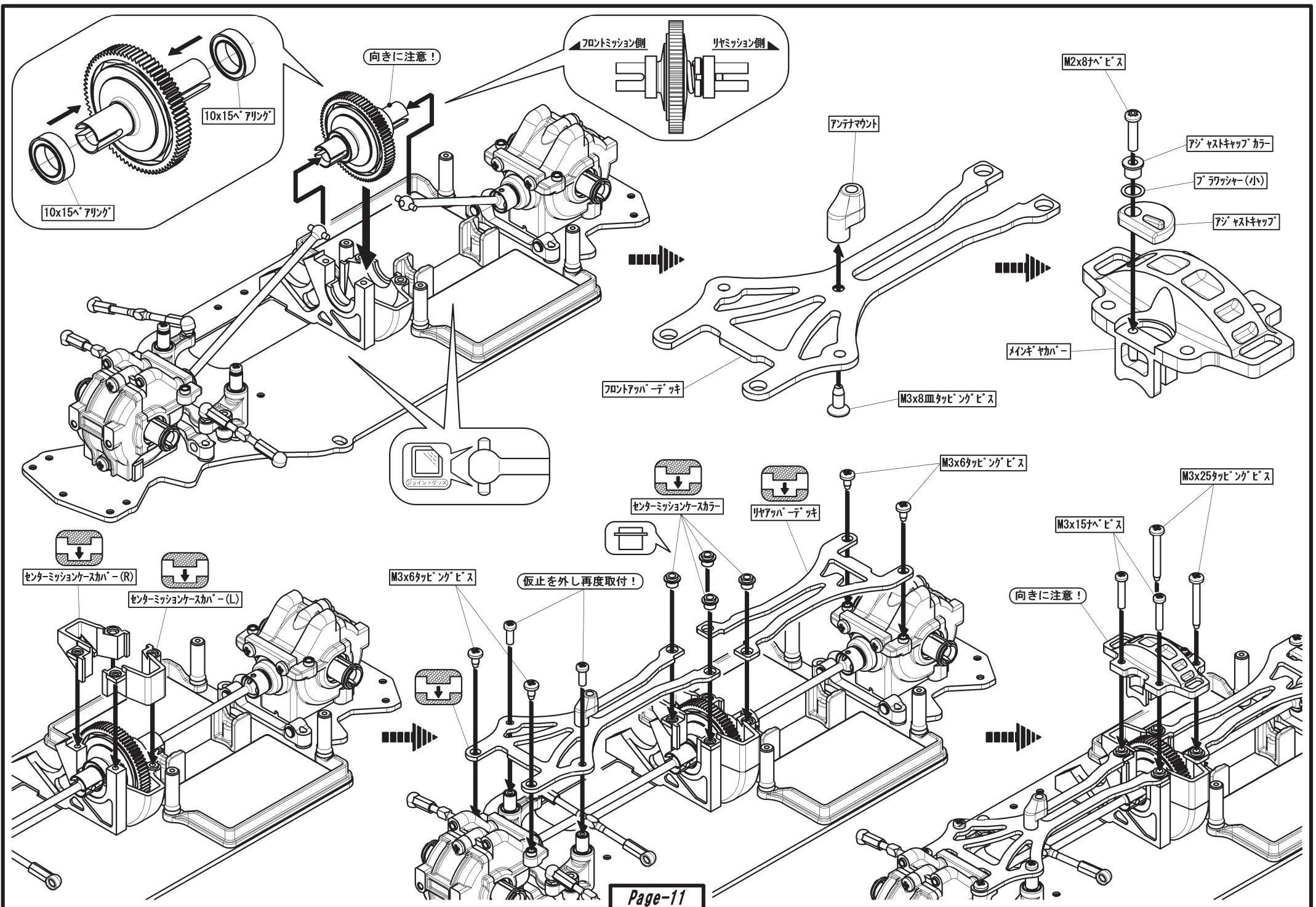
リアミッションケースの組立て

リアセンターボーンを付けたミッションケース



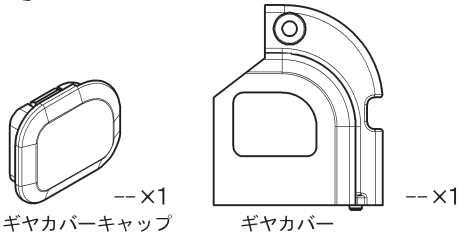
【 袋④ の内容 】





【袋④の内容】

---×1 M3×8 ナベビス



【袋⑤の内容】

---×2 M3×6 ナベビス

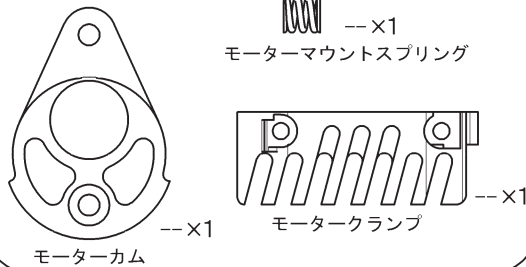
---×1 M3×12 ナベビス

---×1 M3×18 ナベビス

---×1 M3×3 セットスクリュー

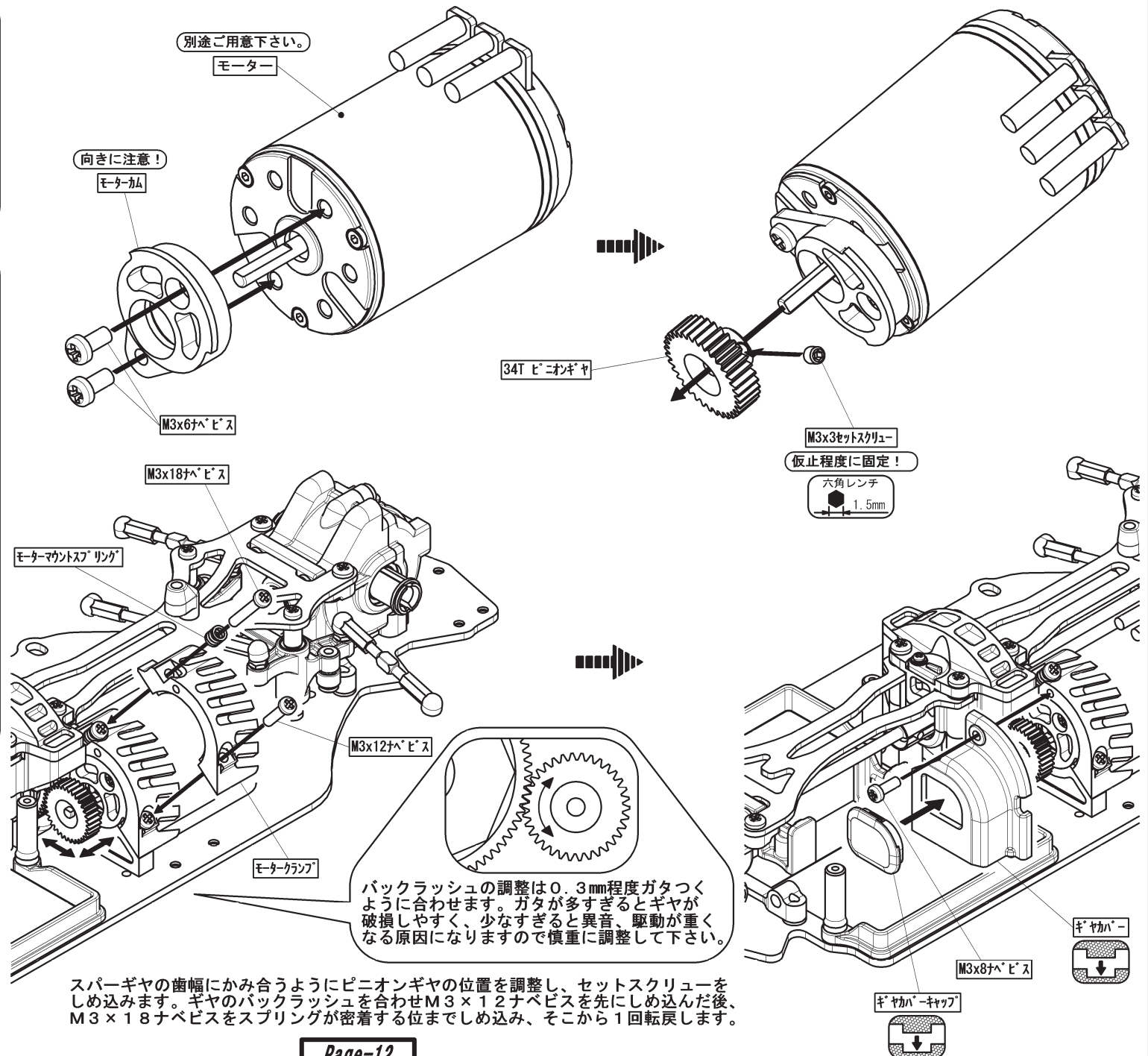
---×1 34T ピニオンギヤ

---×1
モーターマウントスプリング

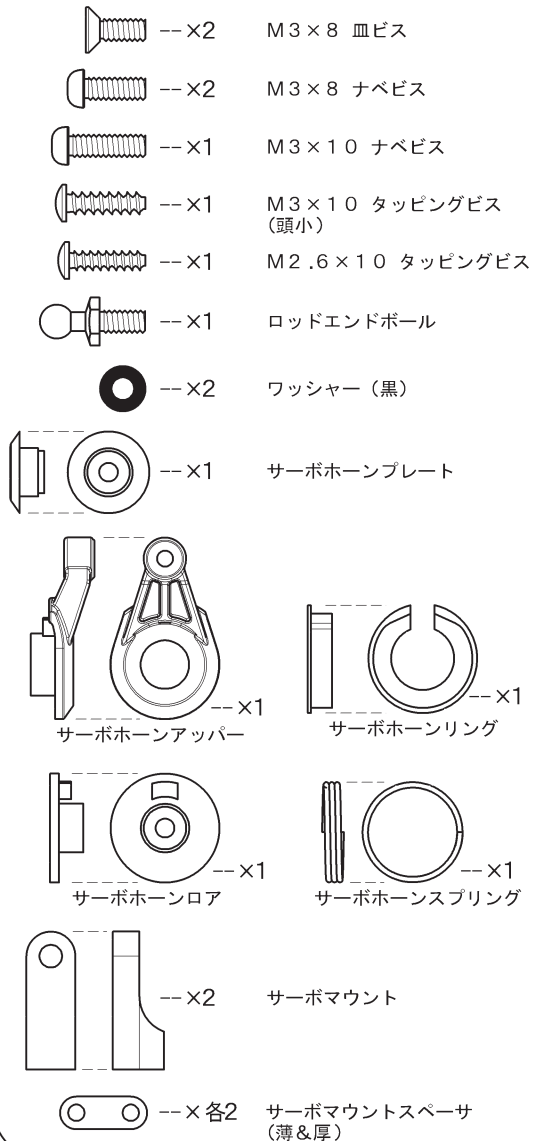


注意！

- ①キットには、モーターは含まれておりませんので、別途ご用意下さい。
- ②ピニオンの取付けは、モーターシャフトの“Dカット”されている部分に、セットスクリューが当たる様、しっかりと締め込んで下さい。
- ③バックラッシュは少し隙間が出来る程度に調整して下さい。
(調整不足は、ノイズ及びギヤ破損の原因になります。)
- ④連続走行はモーターに必要な以上の負荷を掛けるだけでなく寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから走行をさせて下さい。

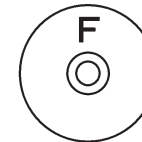
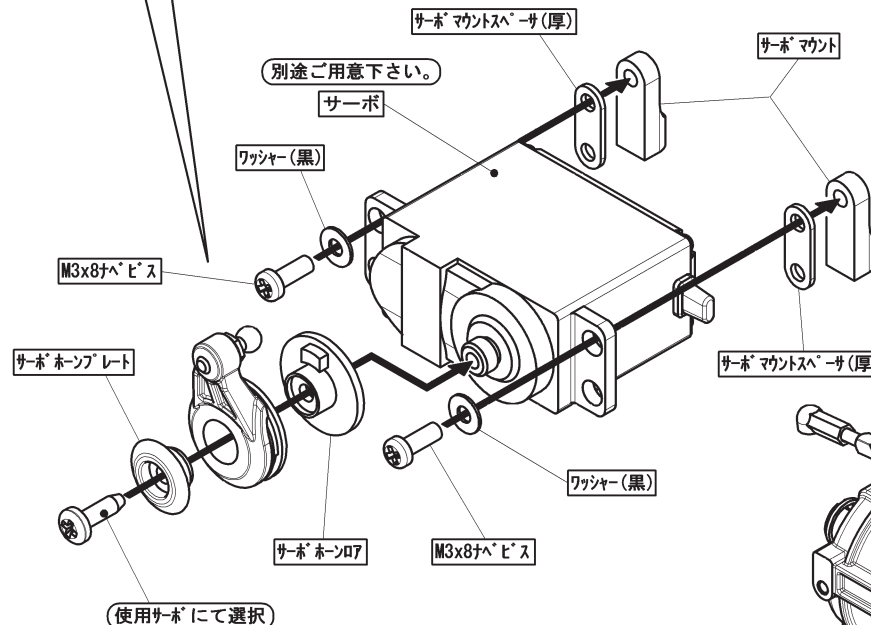
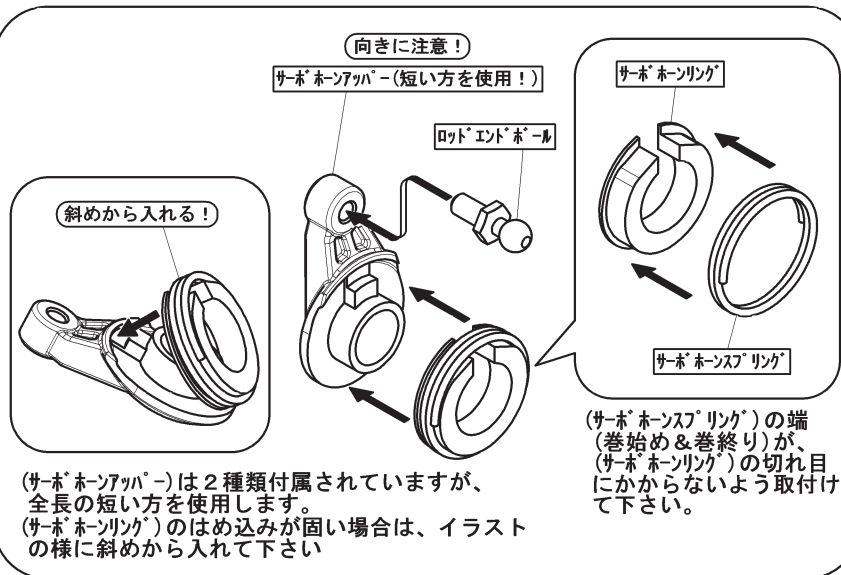


【袋⑥の内容】



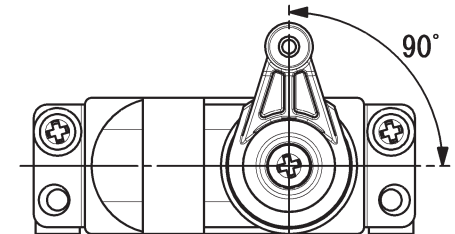
注意！②(サーボホーン)を取付ける前に必ず、サーボのニュートラルを出して下さい。
(詳しくはプロポセットの説明書をご覧ください。)

③キット付属の(サーボホーン)は3種類用意されています。
必ずご使用になるサーボ(メーカー)に合ったホーンをお使い下さい。
(形が合わないサーボホーンを使うとサーボに無理な力が掛かり、故障の原因になります。)



刻印	メーカー
F	フタバ
H	ハイテック
J K S	J R, K O, サンワ

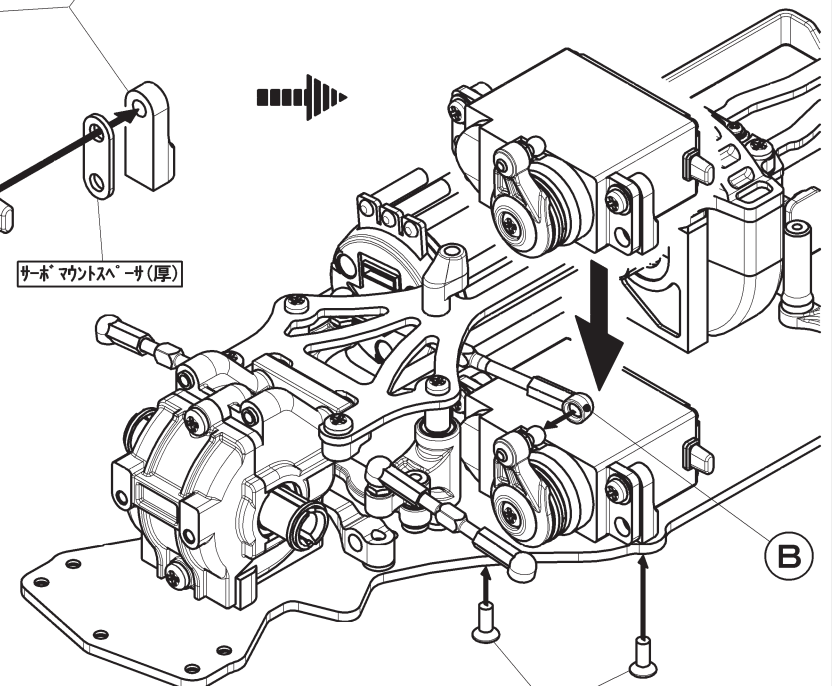
付属の(サーボホーン)には刻印が入っています。
ご使用になるメーカーに合わせてお選び下さい。



サーボのニュートラルを出した後、イラストのようにサーボホーンを取付けて下さい。

注意！

①サーボホーンを固定するビスは、使用するサーボに付属されているネジ部と同タイプのビスを使用して下さい。
(本キット付属のビスは、トラスM2.6x10タッピングビス、M3x10タッピングビス(頭小)、M3x10ナベビスの3種類です。)

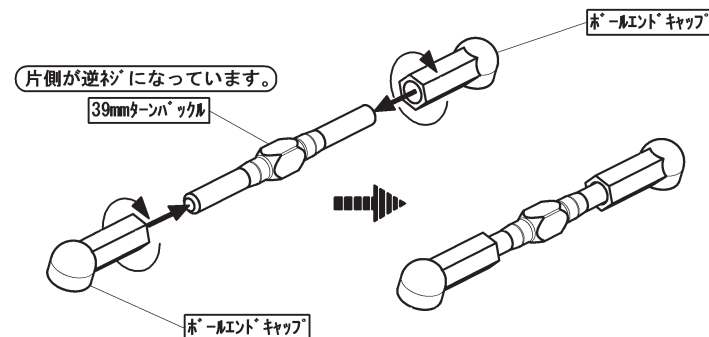
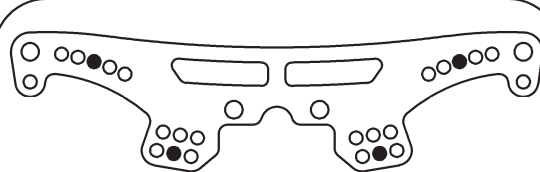
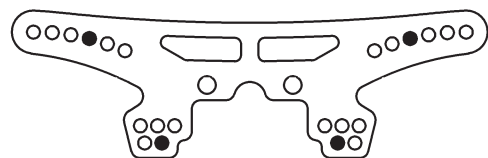
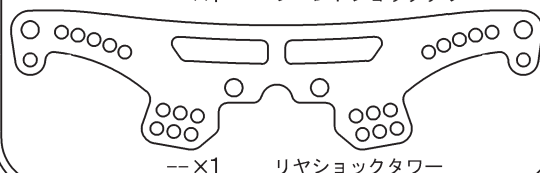
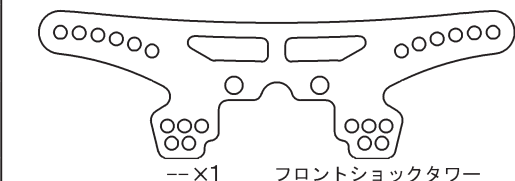


シャーシにサーボを取付けたら、Bロッドをロッドエンドボールにはめ込んで下さい。

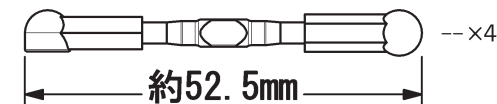
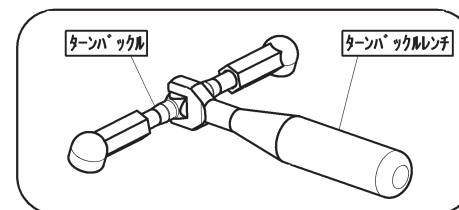
M3x8皿ビス

【 袋⑦ の内容 】

- x4 M3x2.0 ナベビス
- x4 M3x1.0 タッピングビス
- x4 3.9mm ターンバックル
- x2 ロッドエンドボール
- x2 ロッドエンドボール(首長)
- x4 M3 平ナット
- x4 ショックキャップボール
- x4 スペーサー
- x8 ボールエンドキャップ

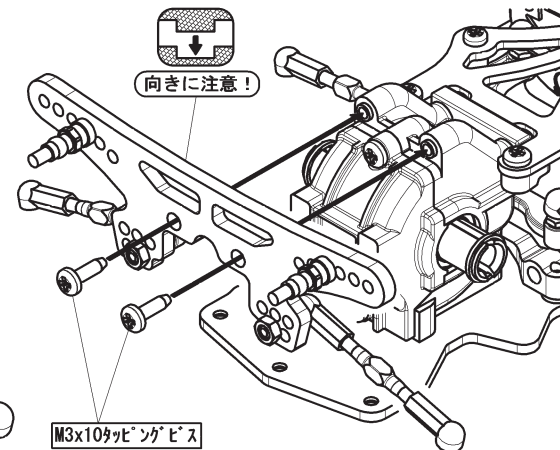
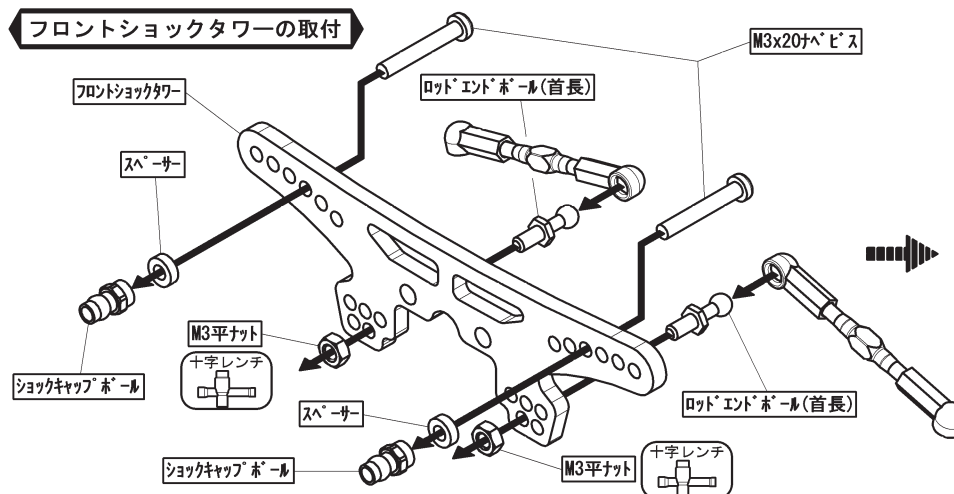


ターンバックルの両側からボールエンドキャップをねじ込みロッドを組立てます。

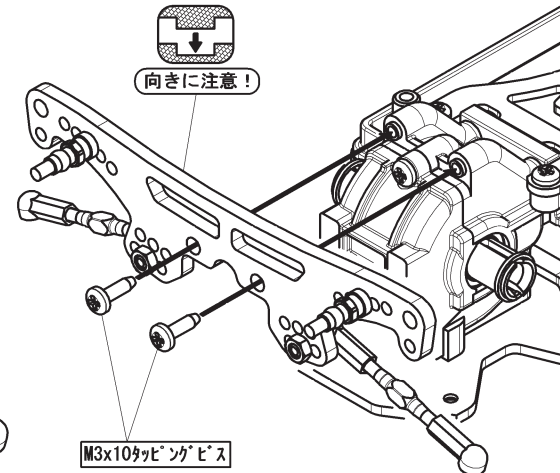
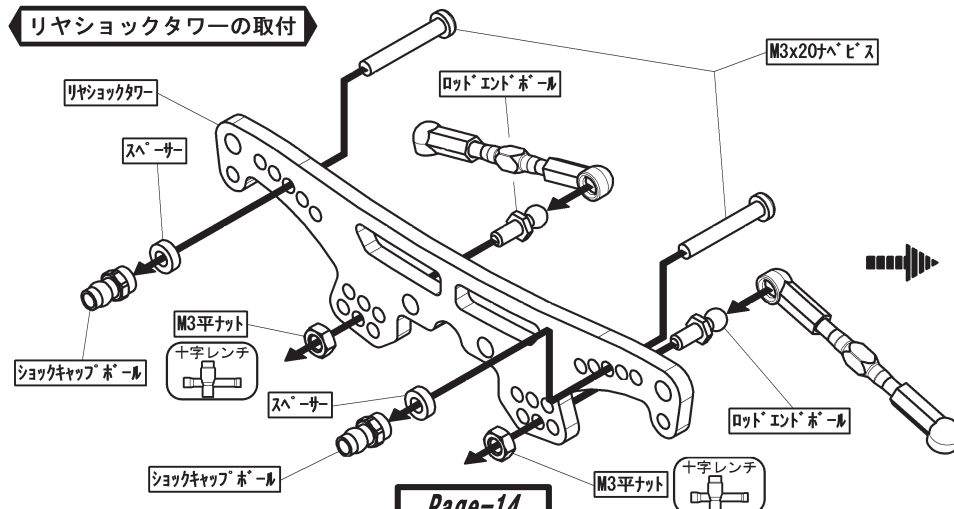


ボールエンドキャップの向きは車体取付時に調整して下さい。

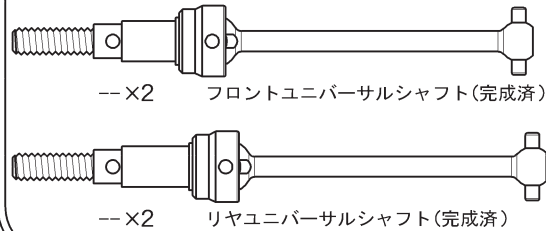
フロントショックタワーの取付



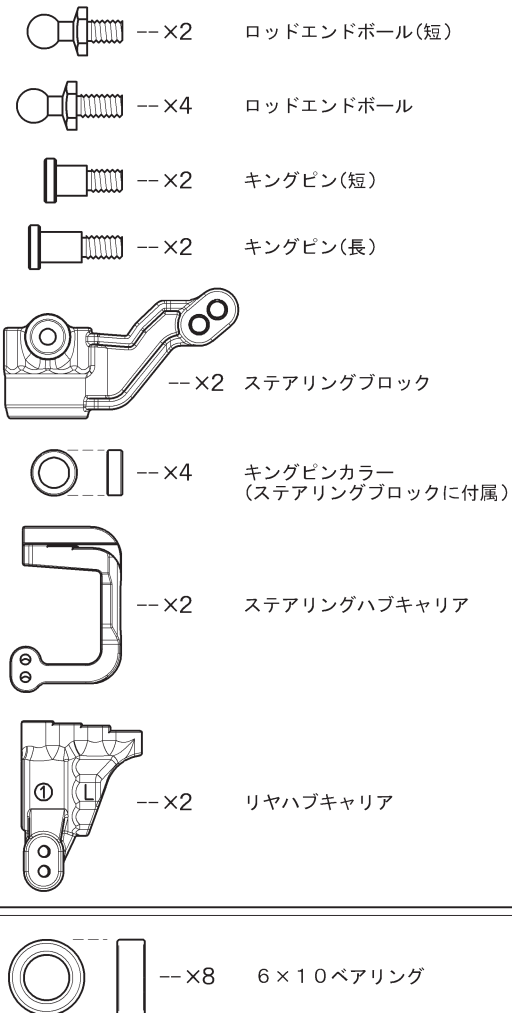
リヤショックタワーの取付



【 袋-⑧ の内容 】

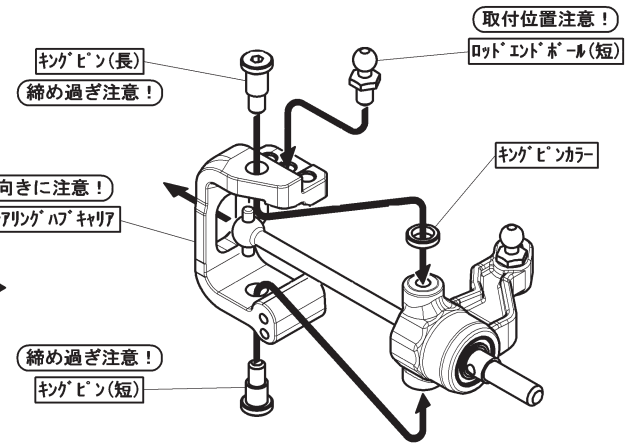
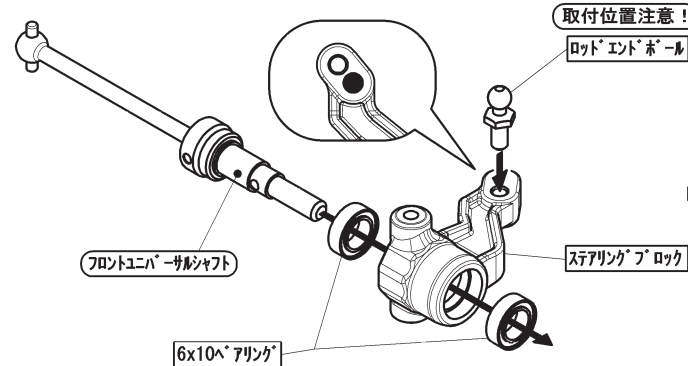


【 袋-⑨ の内容 】



フロントハブキャリアの組立て

2セット作ります。
(ステアリングハブキャリアには左右あり)

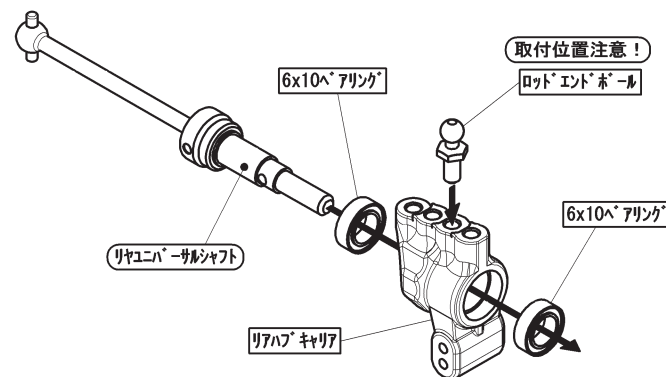


注意! ①(ステアリングハブキャリア)は左右があります。

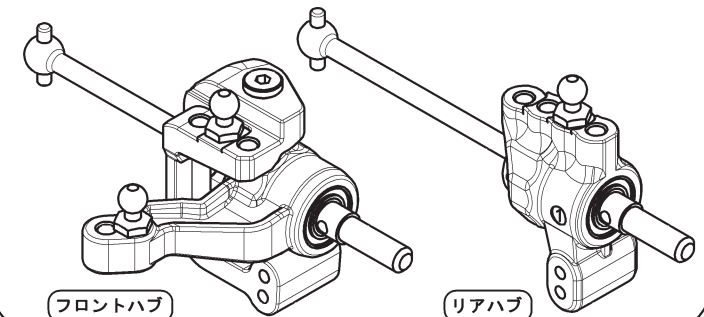
②(キングピン長)を取付ける時は(キングピンカラー)を押しつぶさないよう注意して締め込んで下さい。
(つぶれてしまうと動きが悪くなります。)

リヤハブキャリアの組立て

2セット作ります。

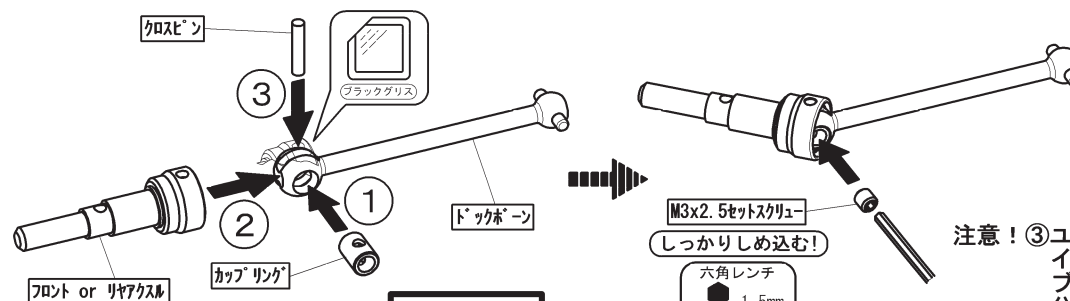


【 反対側も対称に組立てます。】

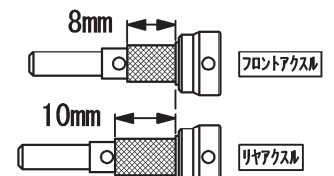


ユニバーサルシャフトの組立て方(分解)

メンテナンスが必要な時に行って下さい。



アクスルの違いに注意!



※アクスル以外は前後共通です。

注意! ③ユニバーサルシャフトを組立てる場合は左イラストを参照して下さい。その際必ずブラックグリスを塗って下さい。
分解する場合は逆の手順で行います。

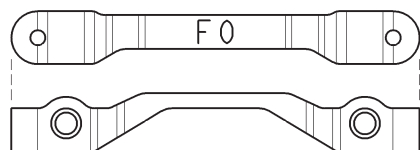
【 袋-10 の内容 】

-  --×4 M3×8 皿ビス
-  --×4 M2.6×5 タッピングビス
-  --×4 M4×8 セットスクリュー
-  --×8 サスマウントボール

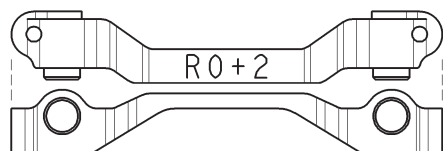
 --×4 アウターサスアームピン

 --×4 インナーサスアームピン

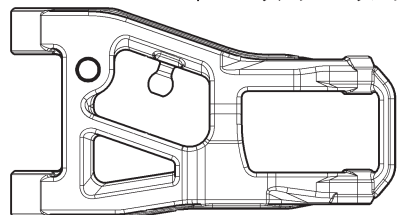
 --×4 サスマウントスペーサー



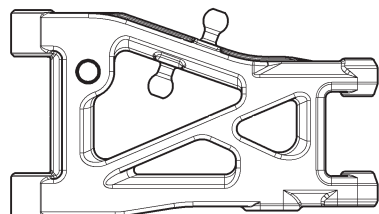
--×1 フロントサスマウント



--×1 リアサスマウント



--×2 フロントロアサスアーム

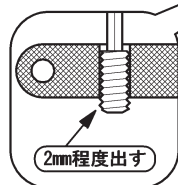
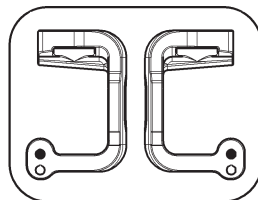


--×2 リヤロアサスアーム

 --×4 ロアサスアームスペーサー
(サスアームに付属)

フロントサスアームの組立て

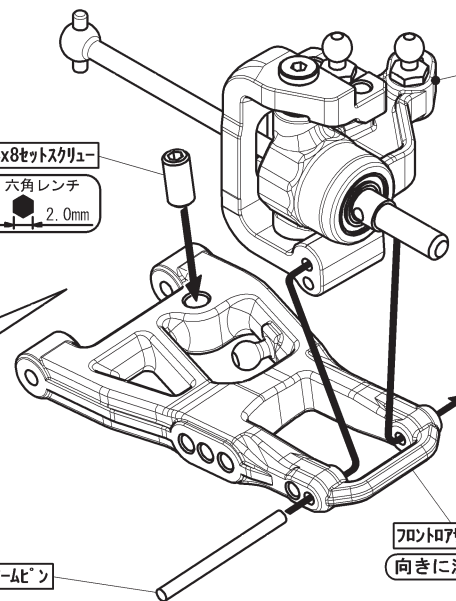
2セット作ります。



2mm程度出す

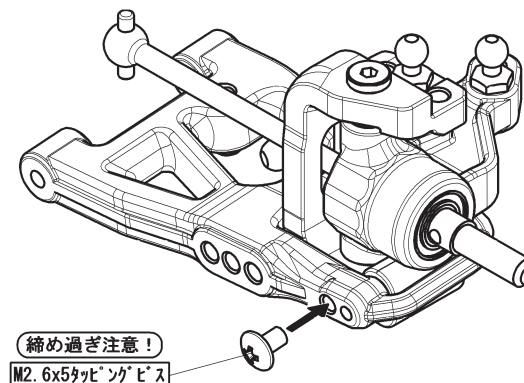
4x8セットスクリュー
六角レンチ
2.0mm

アウターサスアームピン



向きに注意！
フロントハブキャリア

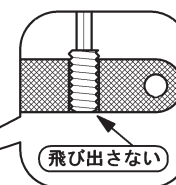
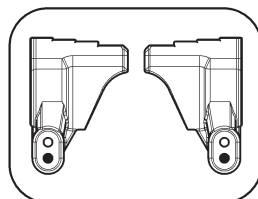
フロントロアサスアーム
向きに注意！



締め過ぎ注意！
M2.6x5タッピングビス

リヤサスアームの組立て

2セット作ります。



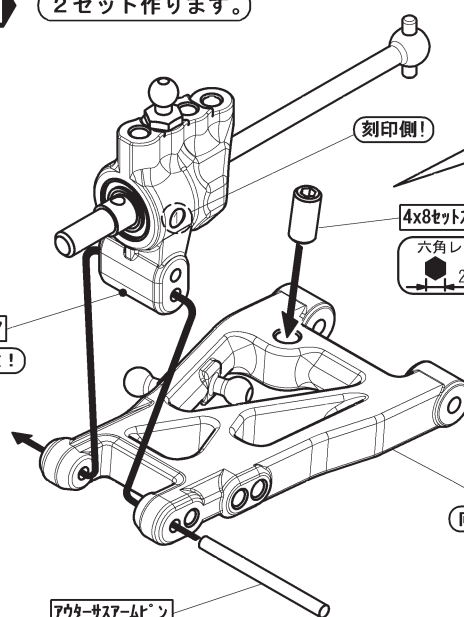
飛び出さない

4x8セットスクリュー
六角レンチ
2.0mm

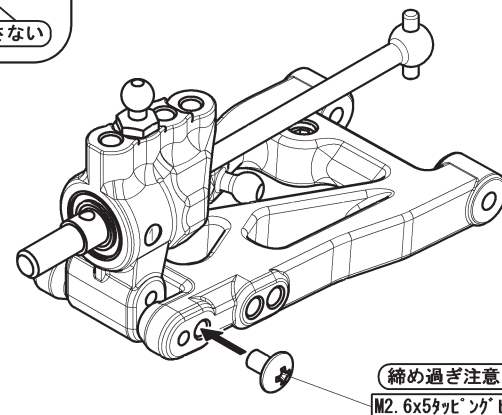
リアハブキャリア
向きに注意！

リアロアサスアーム
向きに注意！

アウターサスアームピン



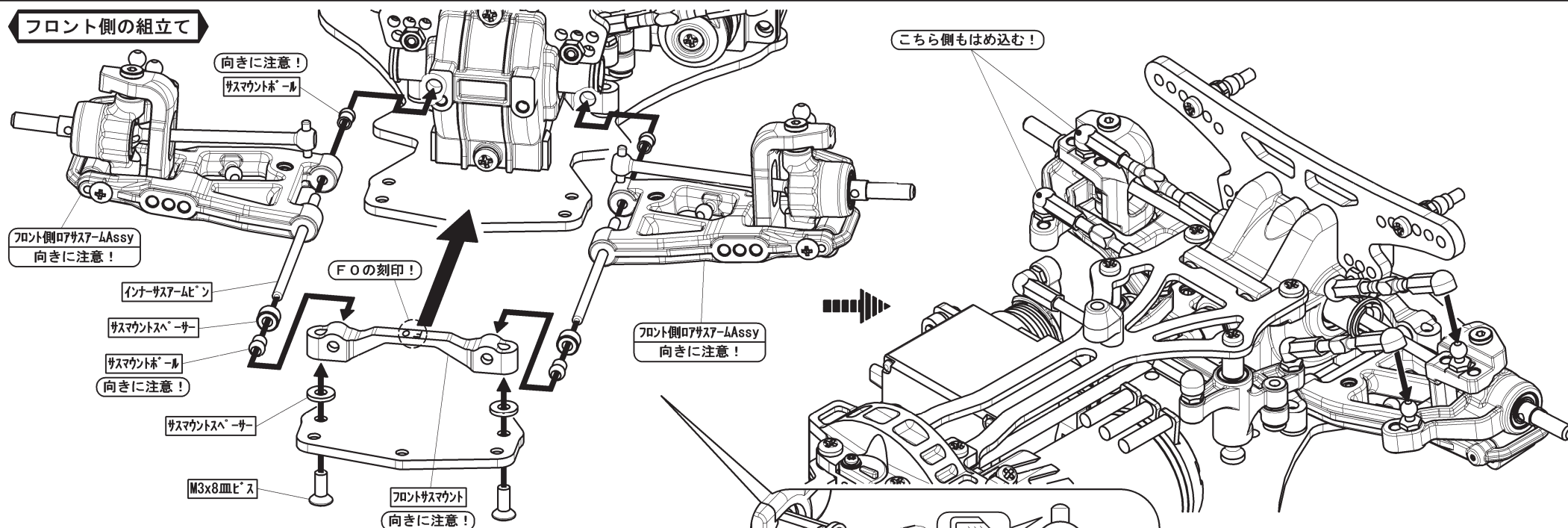
刻印側！



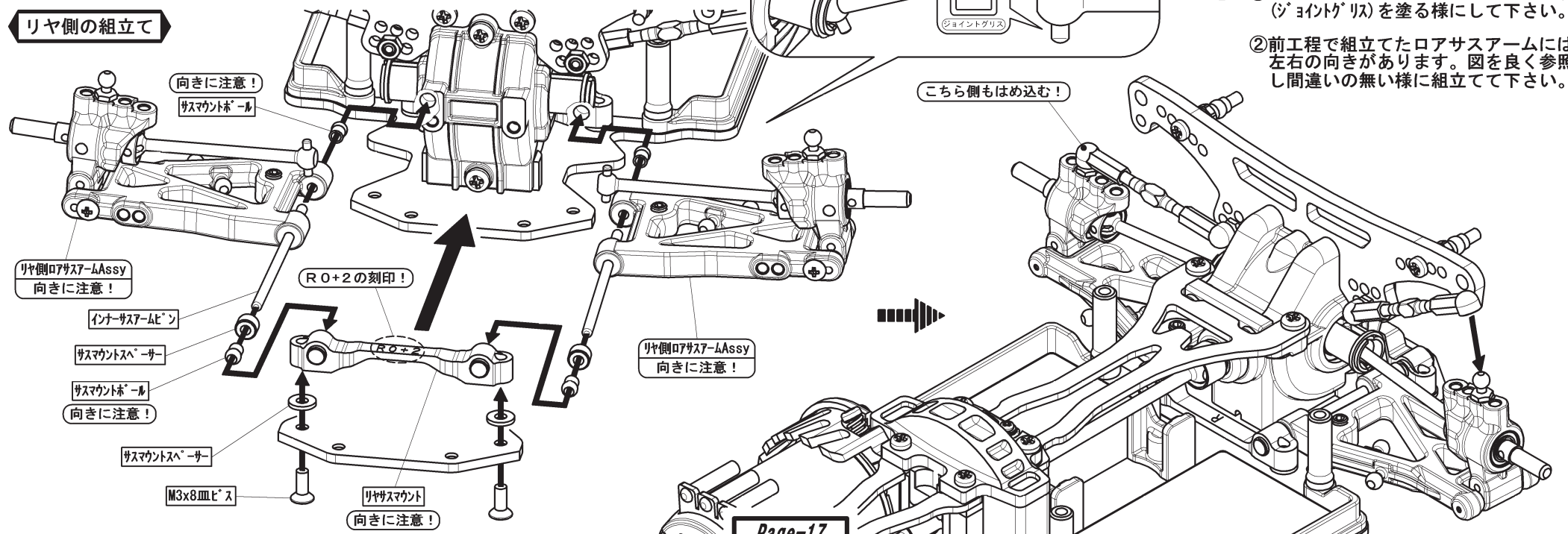
締め過ぎ注意！
M2.6x5タッピングビス

【 反対側も対称に組立てます。 】

フロント側の組立て



リヤ側の組立て



注意！①ユニバーサルシャフトのピンには必ず
(ジョイントグリス)を塗る様にして下さい。

②前工程で組立てたロアサームには
左右の向きがあります。図を良く参照
し間違いの無い様に組立てて下さい。

【 袋-⑪ の内容 】



--×4 ショックシャフト



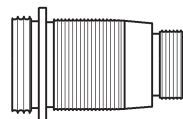
----×8 2mm Eリング



2mm Eリングはテープで
8ヶまとめてあります。



--×4 ショックスプリング



--×4 ショックシリンダー



----×4 Oリングキャップ



----×4 Oリング(透明)



----×4 キャップエンド



----×4 キャップナット

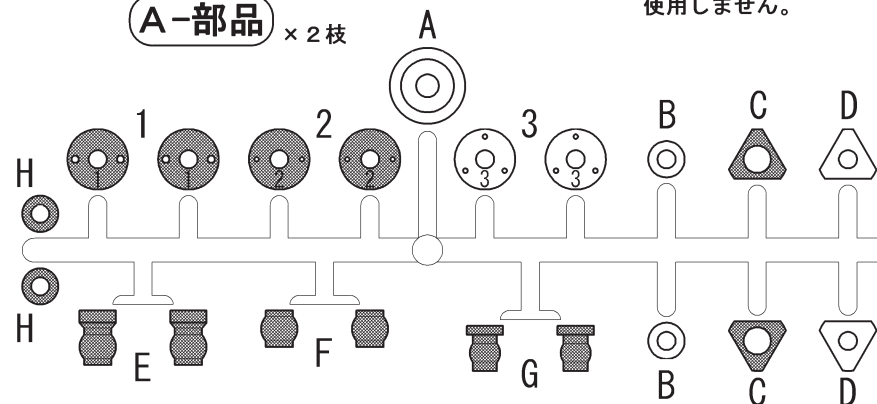


----×4 ダイアフラム



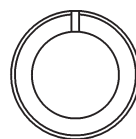
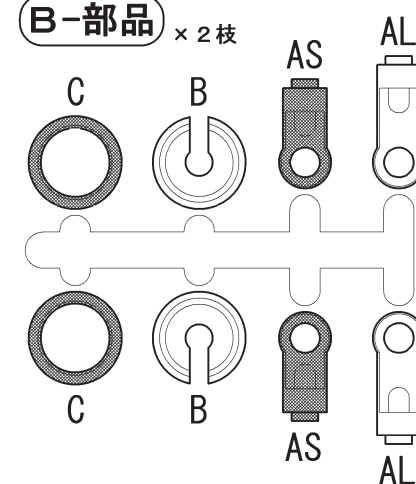
----×4 インナースポンジ

A-部品 × 2 枝



■ 部の部品は
使用しません。

B-部品 × 2 枝



----×4 アジャストナット



----×4 Oリング(φ12)



----×4 ショックエンドボール



----×4 M3×12 タッピングビス



----×4 M3ナイロンナット

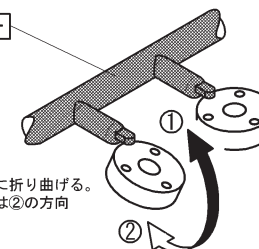
その他、ショックオイル 1ヶ

注意！①ダンパーは非常に多くのパーツ類から構成されています。
組立てる際には間違えのないよう注意して下さい。

【ランナーから使用するパーツを切り離す】 【バリはカッターで切り落とす】

ランナー

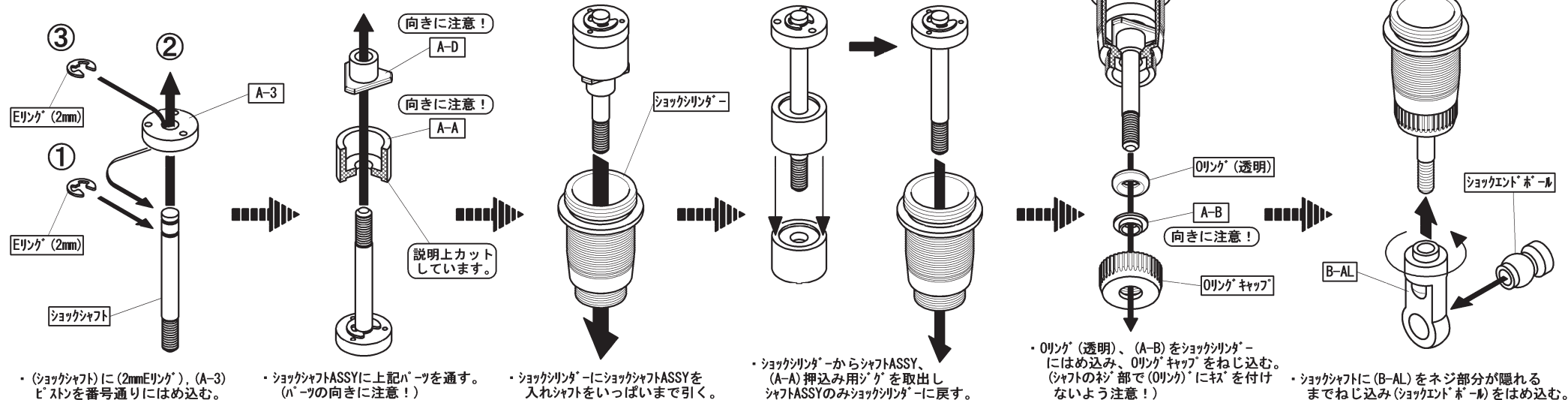
バリ



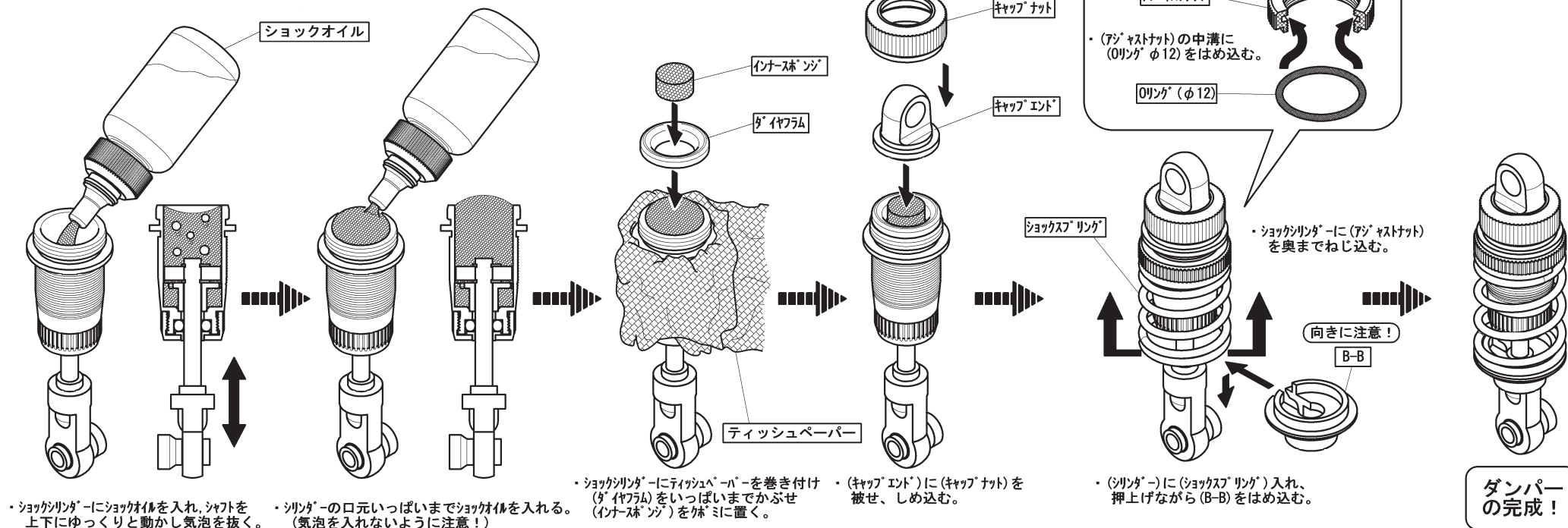
必ず①の方向(上側)に折り曲げる。
パーツが離れない時は②の方向
(下側)に折り返す。

注意！②ランナーからパーツを切り離す際は、図の様に
折り曲げ、もしくはニッパーなどで切り離
して下さい。なお、パーツにバリなどが残っ
てしまった場合は、カッターなどで丁寧に切り
落として下さい。

4セット作ります。



注意！－ (A-A) 押込み用ジグはこの作業のみで使用します。
次工程のシャフトASSYをシリンダーに戻す際には
(A-A) 押込み用ジグは使用しません。



ダンパー
の完成！

フロント側の取付け



向きに注意！



向きに注意！



向きに注意！



向きに注意！

M3x12タッピングビス
取付位置注意！

リヤ側の取付け

M3x12タッピングビス
取付位置注意！

【 袋-12 の内容 】

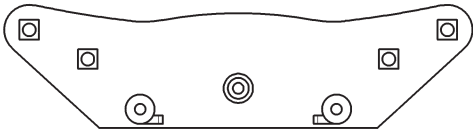
-  --x4 M3 x 10mm タッピングビス
-  --x3 M3 x 12mm タッピングビス
-  --x2 M3 x 18mm タッピングビス
-  --x2 M3 x 10mm タッピングビス

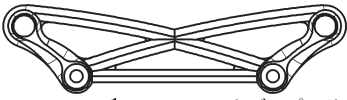
-  --x2 フロントボディーポスト

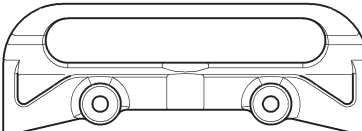
-  --x2 リアボディーポスト

-  --x4 ボディマウントシーソー

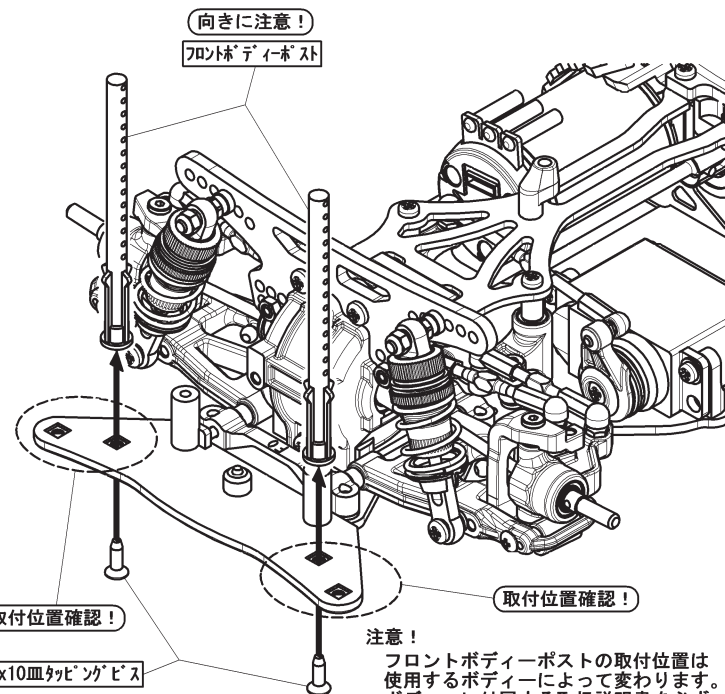
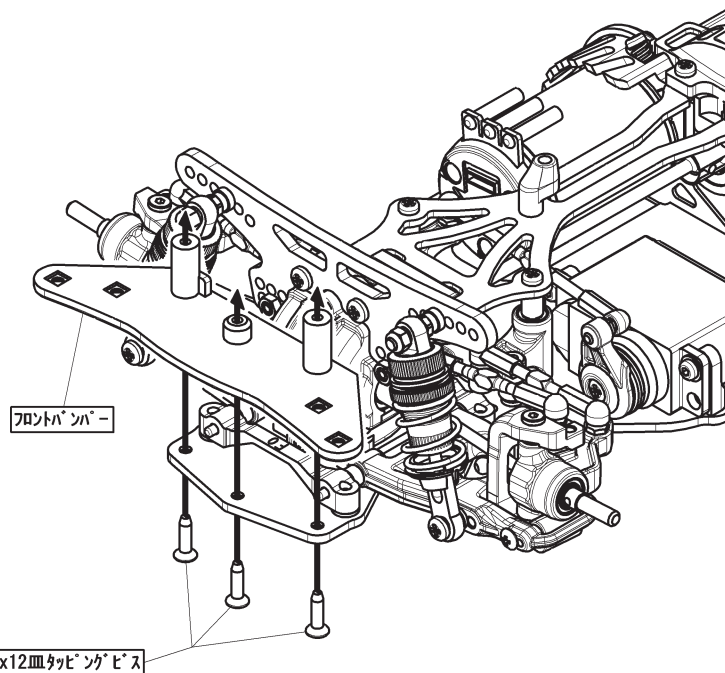
-  --x8 フードピン

-  --x1 フロントバンパー

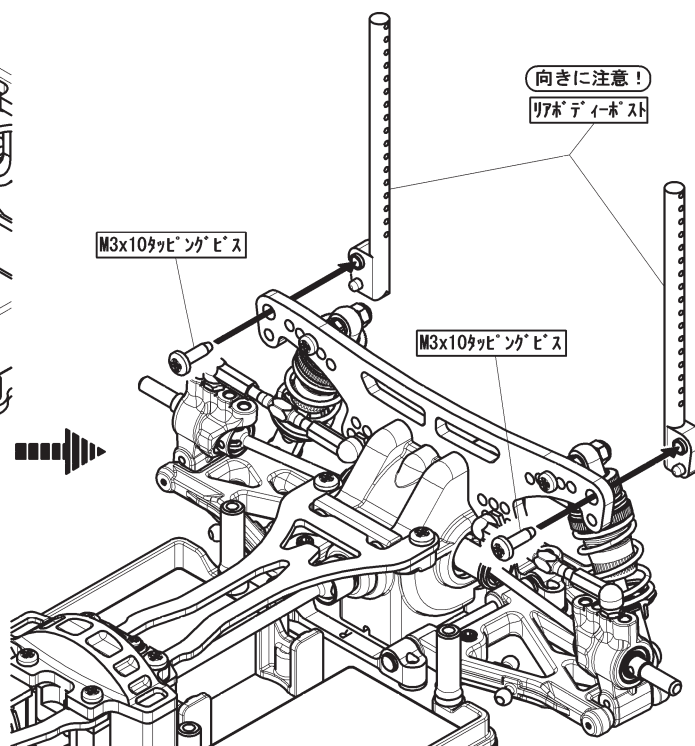
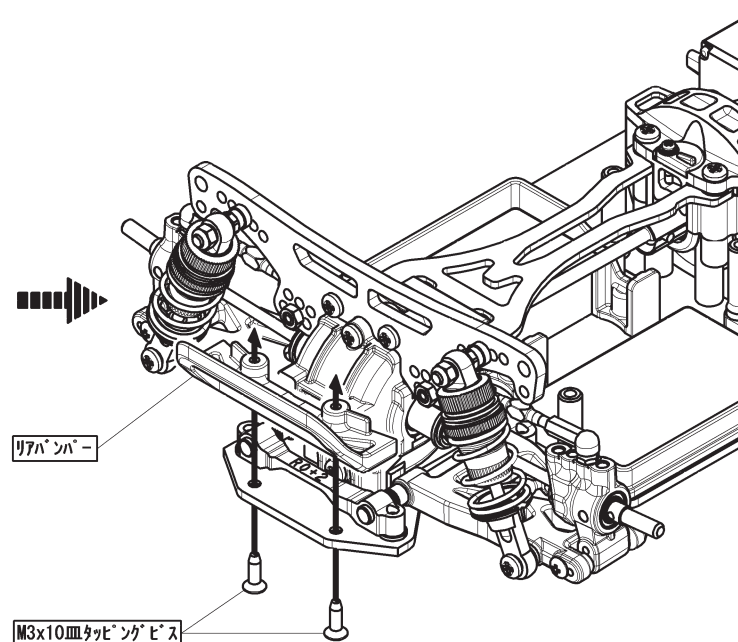
-  --x1 フロントバンパーサポート

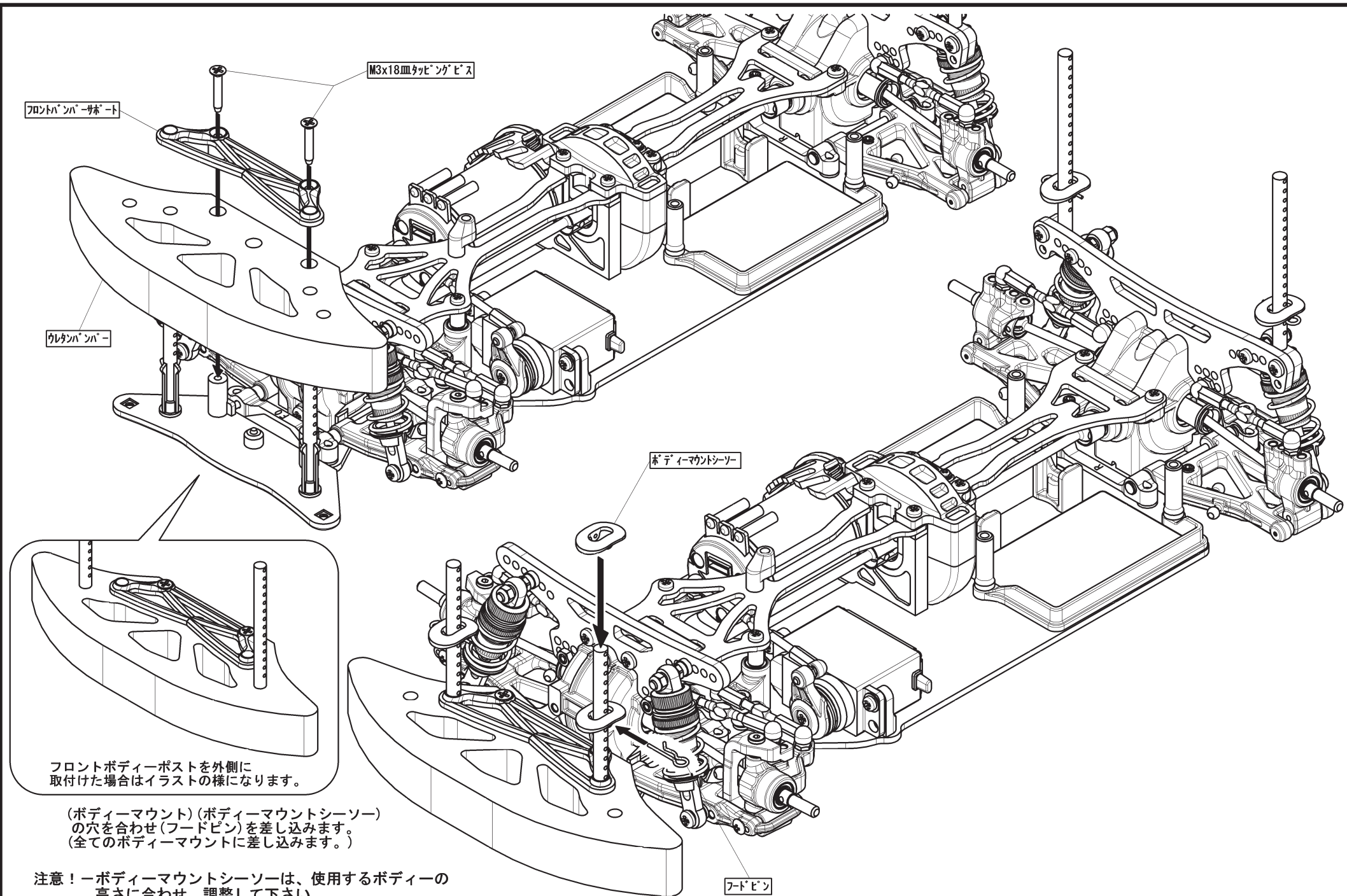
-  --x1 リアバンパー

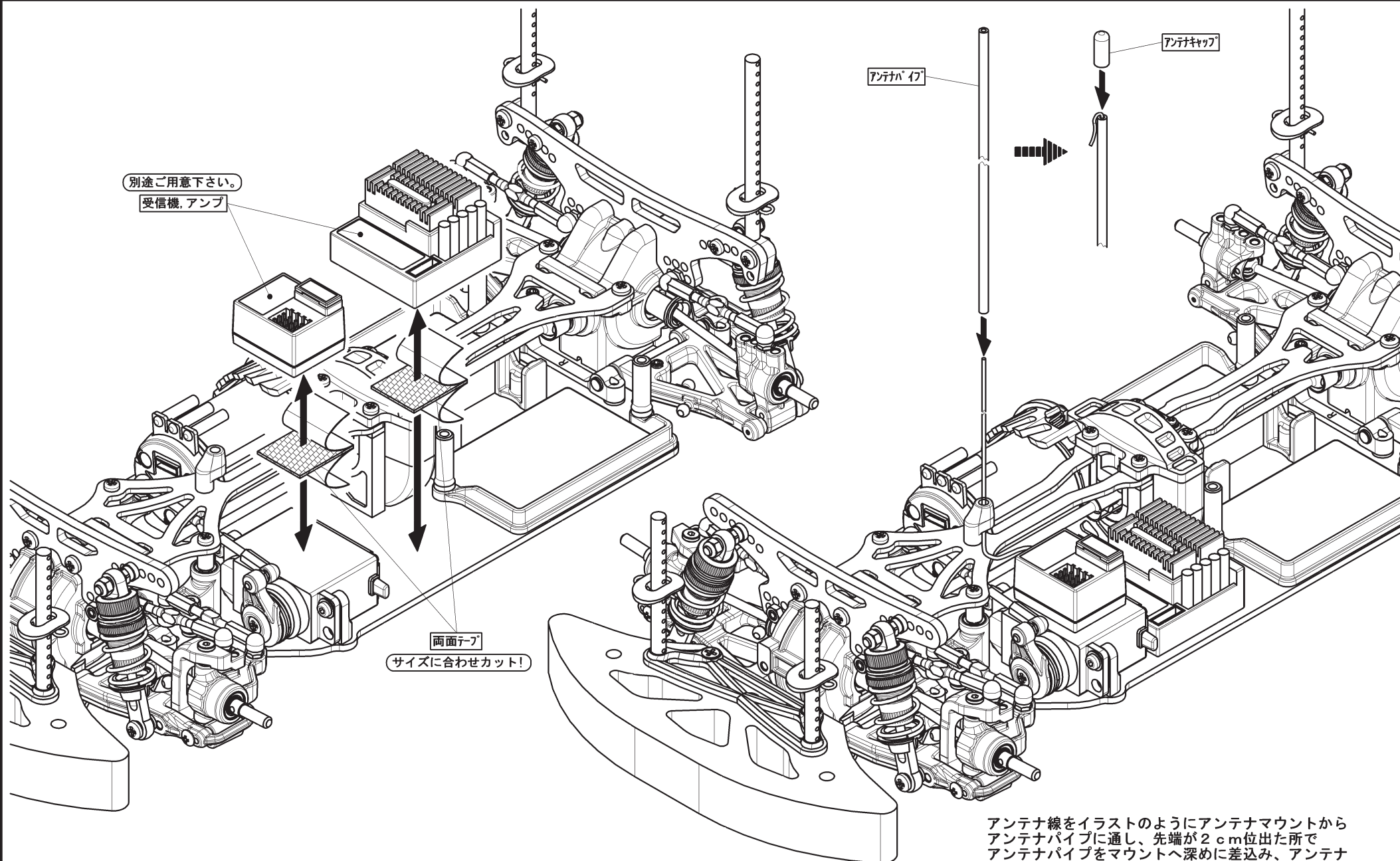
その他、アンテナキャップ、両面テープ 各1ヶ



注意！
フロントボディーポストの取付位置は
使用するボディーによって変わります。
ボディーに付属する取扱説明書を必ず
お読み頂き取付位置を確認して下さい。





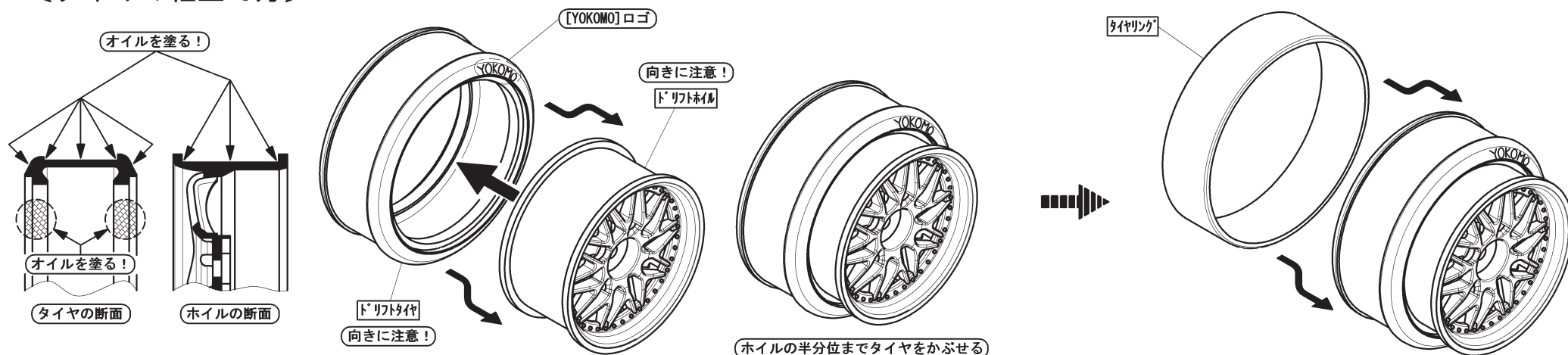


注意！①受信機、アンプの固定は付属の両面テープを使用しシャーシにしっかりと固定して下さい。
(接着面をクリーナーなどで脱脂しておくと、はがれにくくなります。)

アンテナ線をイラストのようにアンテナマウントからアンテナパイプに通し、先端が2 cm位出た所でアンテナパイプをマウントへ深めに差込み、アンテナキャップを被せて下さい。
(マウントへのさし込みがゆるい場合はゴム系接着剤などを塗って下さい。)

注意！②余ったアンテナ線はフロントドライブベルトなどの稼動部分に触れない様に束ねて下さい。

〔タイヤの組立て方〕 ※本キットのタイヤは組立済です。スペアタイヤを作成する場合などに参照して下さい。

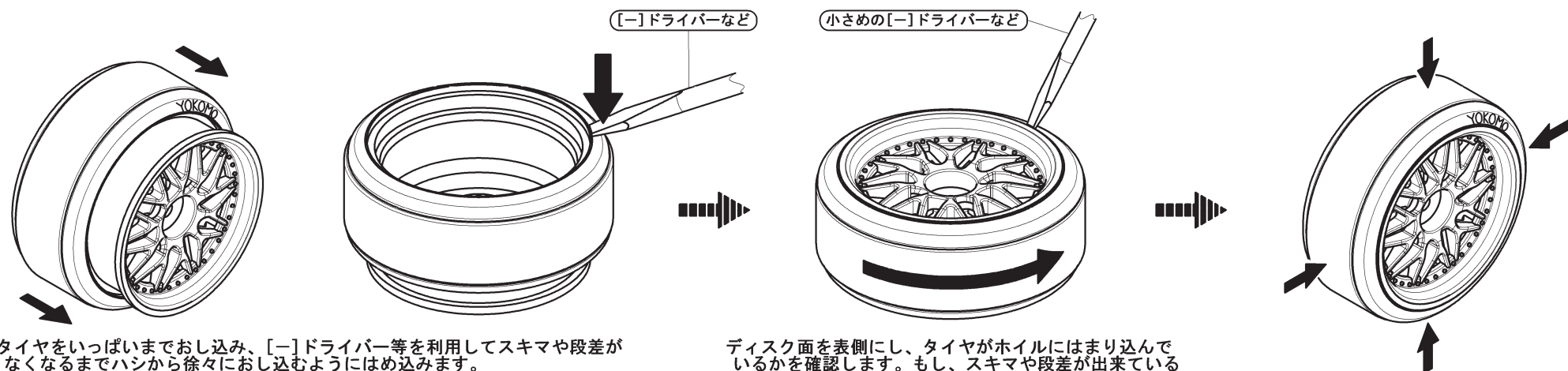


ティッシュペーパーにCRC等の潤滑オイルを吹きつけ(ご家庭にあるサラダオイル等を使用するのもOK)、左イラストのように、タイヤのトレッド面全周、タイヤ内側の両リブ全周、両サイドのクボミ全周、ホイールのリム幅面全周にタッブリと塗りつけて下さい。ホイールスポーク部とタイヤ[YOKOMO]ロゴの向きを確認し、右イラストのようにホイールの半分位までタイヤをかぶせた状態にします。タイヤがはめ込みづらい時は、あらかじめお湯でタイヤをあたためておくと柔らかくなり作業がしやすくなります。

タイヤのミゾにタイヤリングをしっかりとめ込みます。(はめ込みが不十分だと次工程のホイールにはめ込む作業がしづらくなります)

注意! ①(ドリフトタイヤ)には向きがあります。必ず中イラストのように[YOKOMO]ロゴがスポーク部と同じ向きにくるようにはめ込んで下さい。

- ②ホイールをランナーから切りはなす際に残るバリはカッター等で必ずきれいにとり除いて下さい。
- ③お湯を使用する時は、ヤケド等しないよう取扱いに十分ご注意下さい。
- ④無理な作業は思わぬケガ等をすることがありますので、ゆとりを持ってゆっくりと組立を行って下さい。

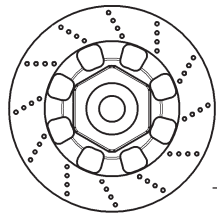
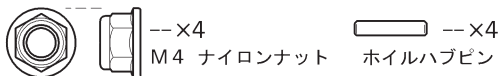


タイヤをいっぱいまでおし込み、[-]ドライバー等を利用してスキマや段差がなくなるまでハシからおし込むようにはめ込みます。(しっかりとめ込まれた状態は、タイヤとホイールがほぼツライチになります。スキマや段差がなくならない場合は、もみほぐしながらはめ込んで下さい)

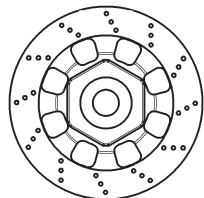
ディスク面を表側にし、タイヤがホイールにはまり込んでいるかを確認します。もし、スキマや段差が出ている場合にはイラストのように小さめの[-]ドライバー等でホイールにキズを付けないよう、タイヤを回転させながらタイヤのリブを引っ張り出し、ホイールのリムにかぶるようにはめさせます。

最後に全体をよくもみほぐし、リングとタイヤ、タイヤとホイールをなじませて下さい。

【 袋-13 の内容 】



ディスクローター型フロントホイールハブ(ディスク径-大)



ディスクローター型リアホイールハブ(ディスク径-小)

こちら側も取付ける！

リア側

トリアタイAssy

ハブ用Oリング

フロントホイールハブ
ミゾを合わせる！

M4ナylonナット



こちら側も取付ける！

トリアタイAssy

ハブ用Oリング

フロントホイールハブ
ミゾを合わせる！

M4ナylonナット



フロント側

アクスルに(ホイールハブピン)をさし込み、(ディスク型ホイールハブ)をピンミゾにはめ込みます。(ハブ用Oリング)をさし込み、ホイールハブとホイールの6角を合わせ(M4ナylonナット)で固定します。

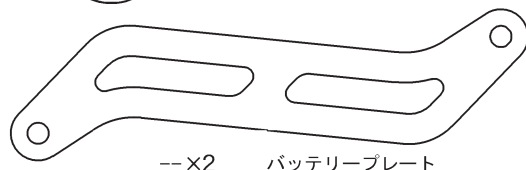
【 袋-⑭ の内容 】

---×4 M3×12 皿ビス

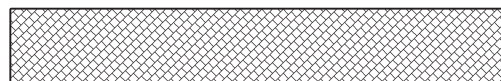
---×4 ハブ用Oリング

---×3 マウントナット

---×1 マウントワッシャー

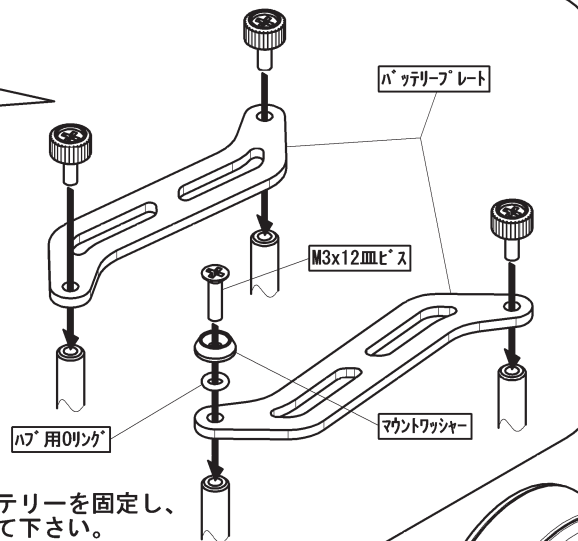
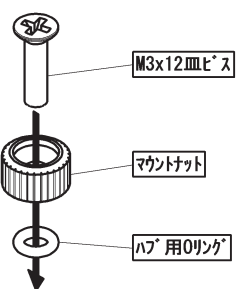


---×2 バッテリープレート



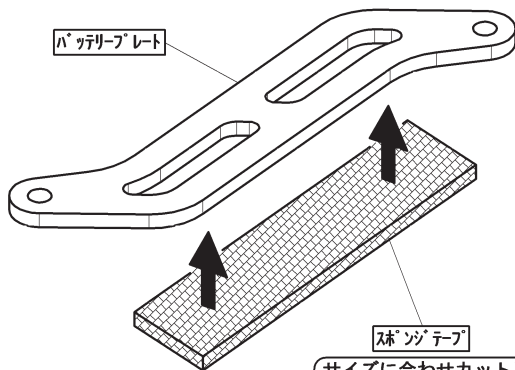
---×1 スポンジテープ

3セット作ります。



注意！一ぐらつかない程度にバッテリーを固定し、しめ過ぎない様に注意して下さい。

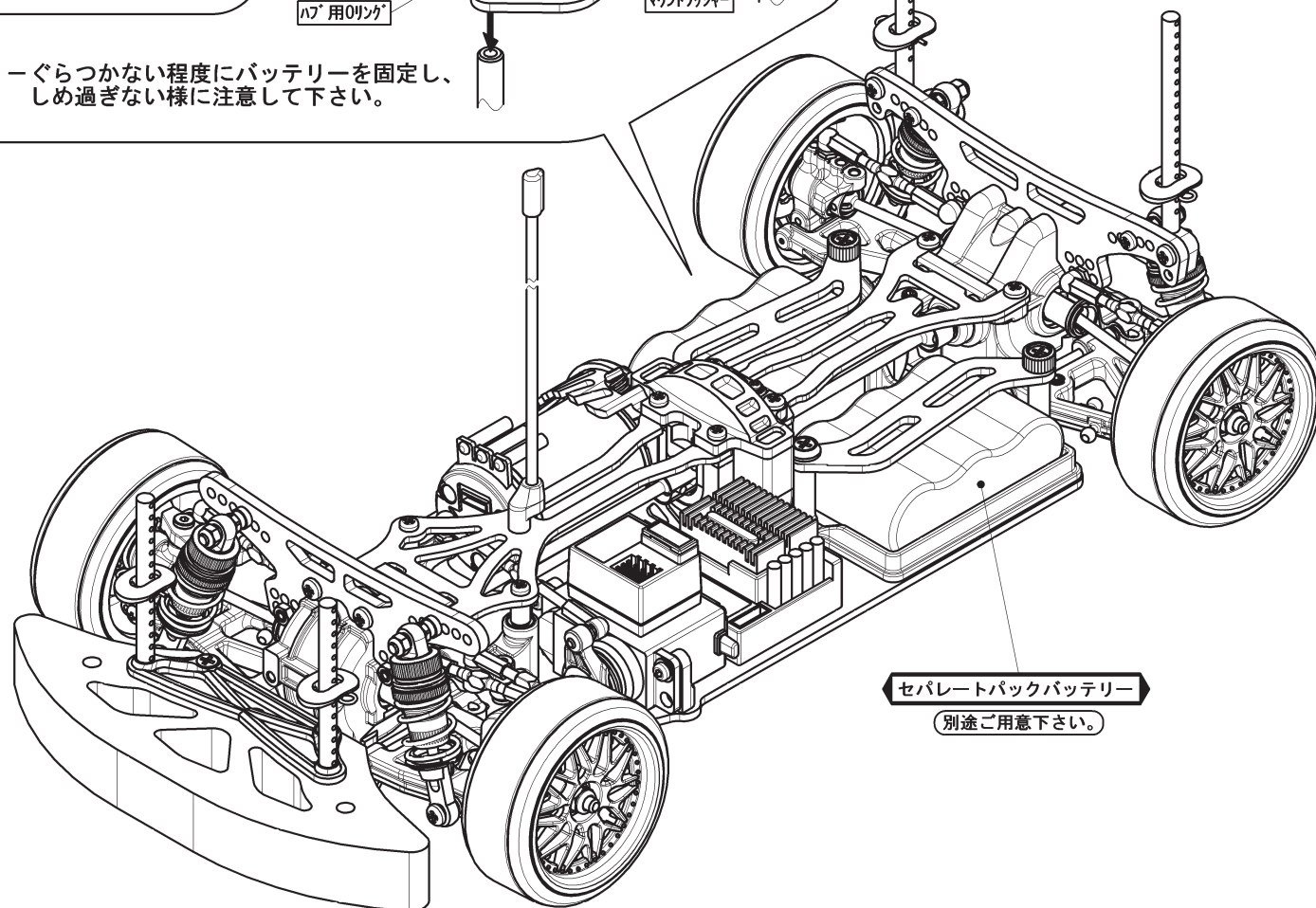
バッテリープレート



スポンジテープ

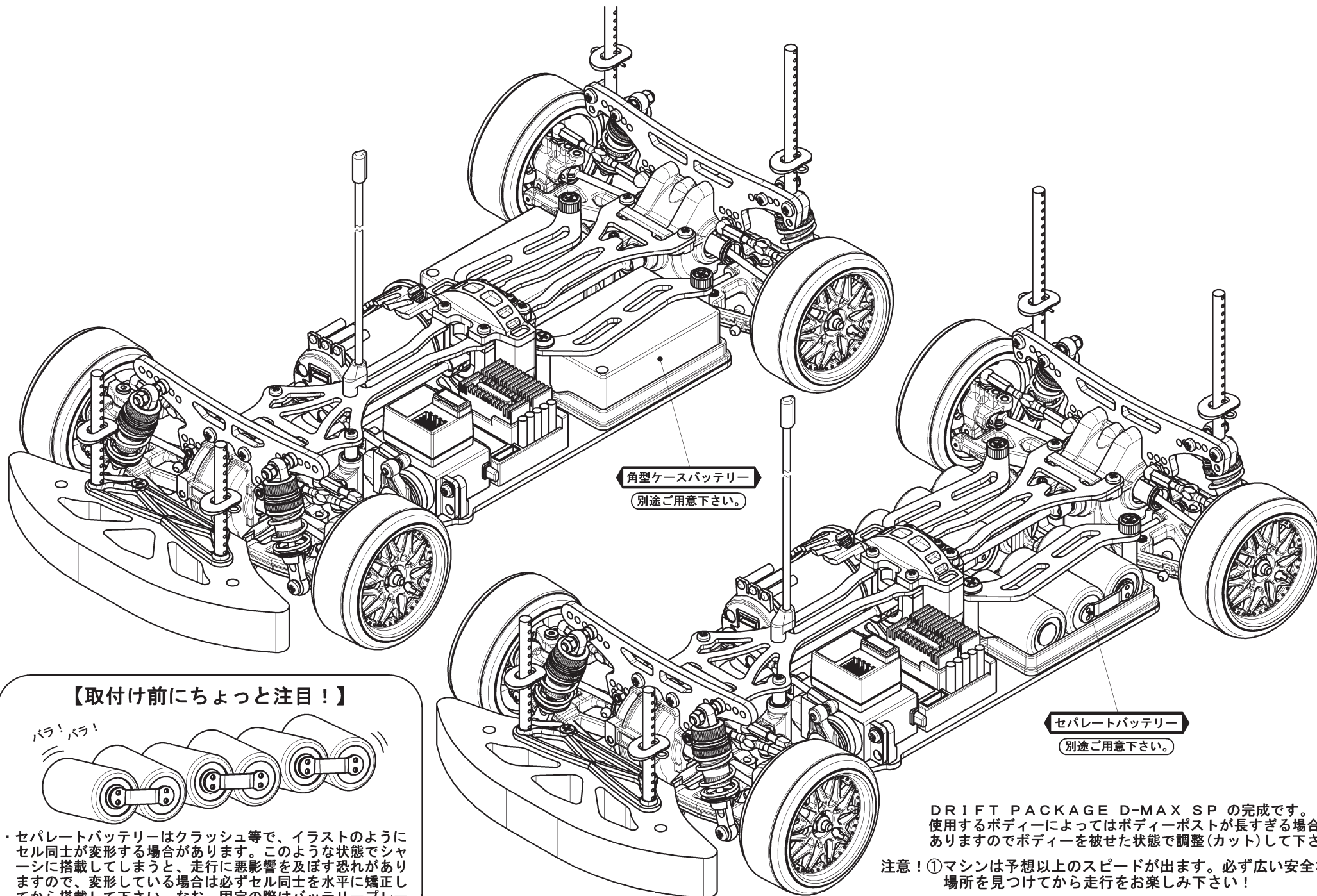
サイズに合わせカット！

使用するバッテリーの種類によってはスキマができてしまう場合があります。付属するスポンジテープを使用しガタが出ないように貼り付けて下さい。



セパレートパックバッテリー

別途ご用意下さい。



角型ケースバッテリー

別途ご用意下さい。

セパレートバッテリー

別途ご用意下さい。

【取付け前にちょっと注目！】

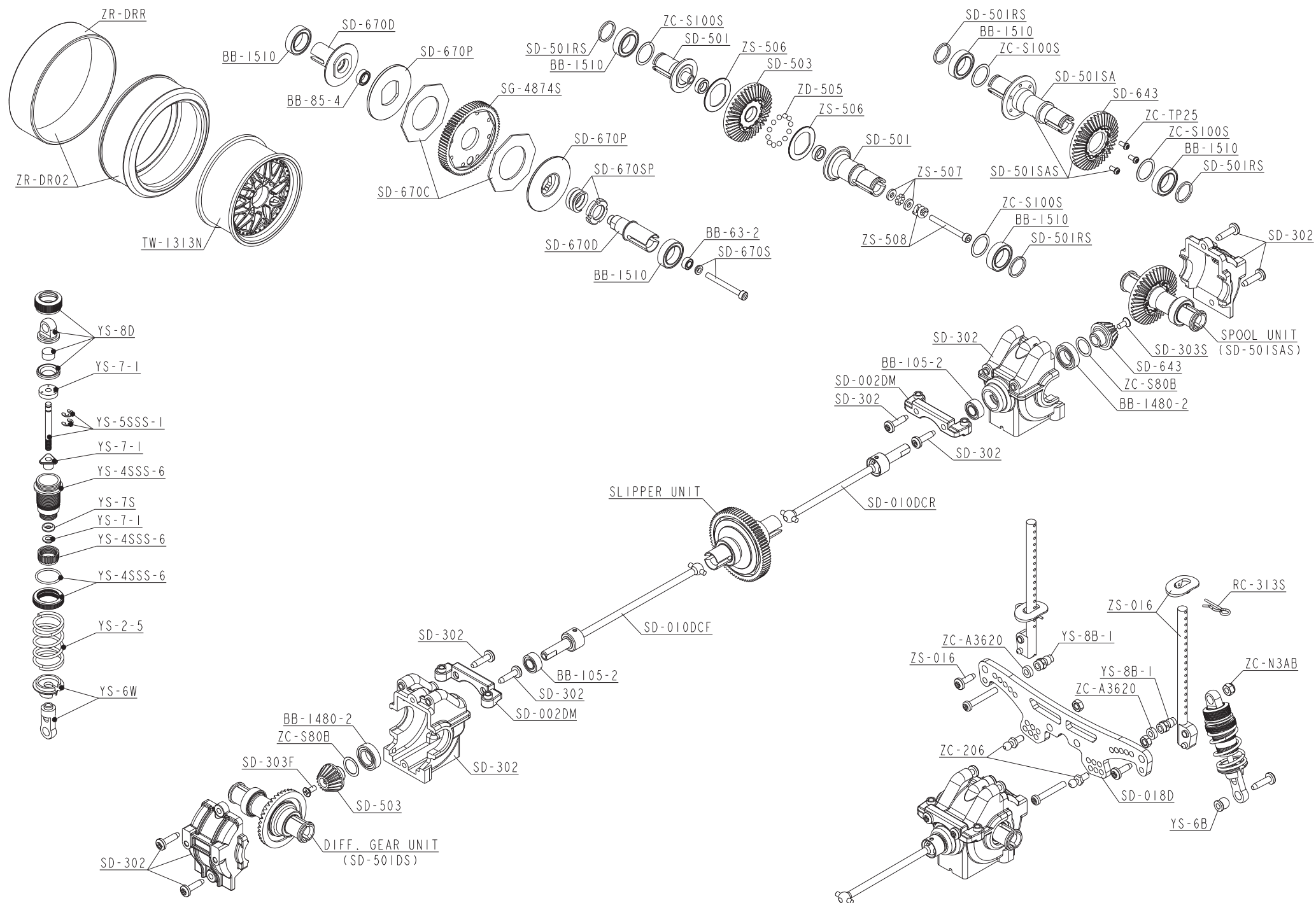
バラ！バラ！

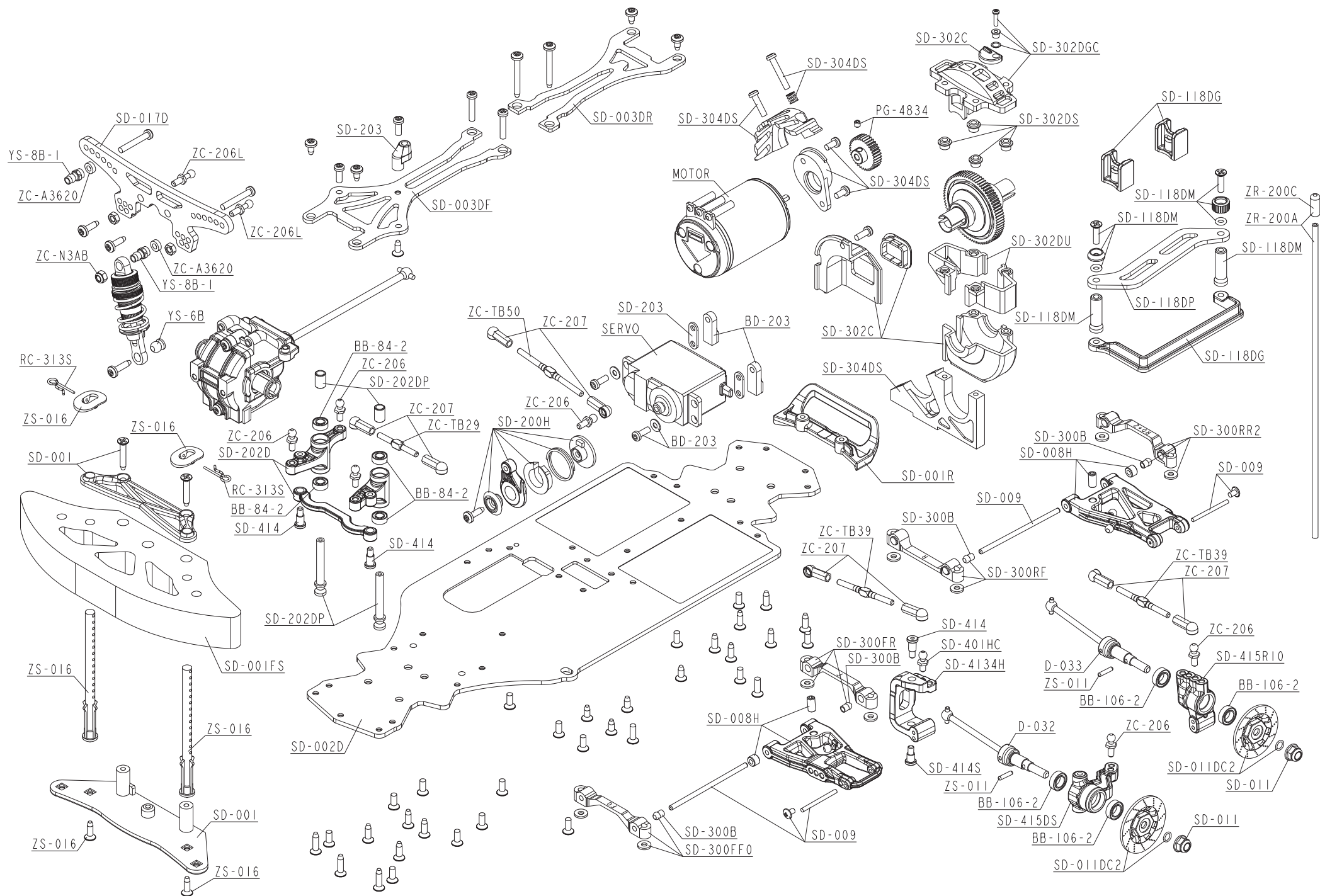
・セパレートバッテリーはクラッシュ等で、イラストのようにセル同士が変形する場合があります。このような状態でシャーシに搭載してしまうと、走行に悪影響を及ぼす恐れがありますので、変形している場合は必ずセル同士を水平に矯正してから搭載して下さい。なお、固定の際はバッテリープレートを押さえつけず多少のガタを持たせて下さい。

DRIFT PACKAGE D-MAX SP の完成です。
使用するボディによってはボディポストが長すぎる場合がありますのでボディを被せた状態で調整(カット)して下さい。

注意！①マシンは予想以上のスピードが出ます。必ず広い安全な場所を見つけてから走行をお楽しみ下さい！

②キットには、バッテリーは含まれておりませんので別途ご用意下さい。





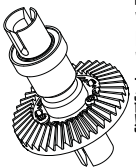
DRIFT PACKAGE

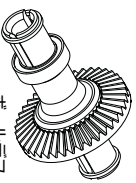
SETTING SHEET

ドライバー

DATE	/	/
サーキット		
環境	☐ インドア	☐ アウトドア
路面	☐ アスファルト	☐ コンクリート
グリップ	☐ 高い	☐ 普通
ボデー		
	☐ カーペット	

■フロント駆動


ボールデフ


ソリッドメタル

☐コンウェイ

☐樹脂製 (SD-501DS)

☐樹脂製 (SD-501SAS)

☐D-021

☐アルミ製 (SD-501DA)

☐アルミ製 (SD-501SAA)

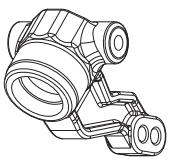
■ステアリングロック

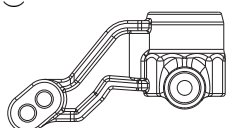
☐ノーサル (SD-415DS)

☐トルール1 (SD-415)

☐トルール0 (SD-415S)

☐TeamSUZUKIステアリングロック (TS-2100)





■フロントサスアーム位置

mm X 枚

mm X 枚

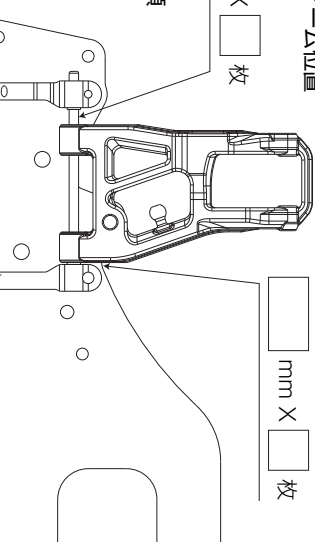
■サスアーム種類

☐ノーサル

☐SD-008H

☐グラファイト

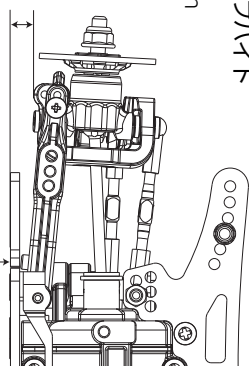
☐SD-008HG



■フロントドルーハイト

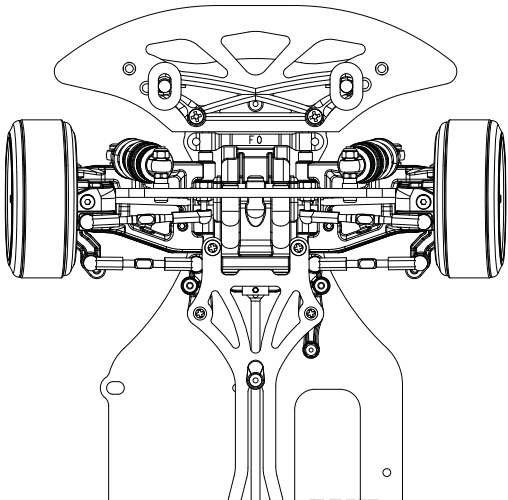
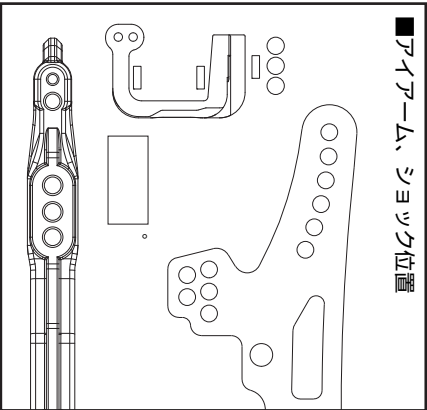
車高

mm

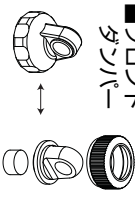


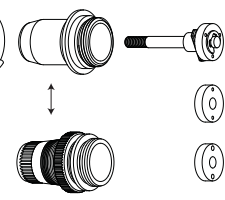
mm

ダウンストップ用セットピスで調整



■フロントダンパー





ダンパーオイル

キャップ

☐エアーシオン (YS-8Y)

☐ダイヤフラム (YS-8D)

ピストン (YS-7-1)

☐#1 ☐#2 ☐#3

シリンダー

☐アラスチック (YS-4SSS-4)

☐アルミ (YS-4SSS-6)

スプリング

()

バネアストップコiling

枚

スプリングカップ

☐アラスチック (YS-6W)

☐レイスビード (RS-15)

ショックエンド (YS-6W)

☐シヨート

☐ロング

ダンパー全長

mm

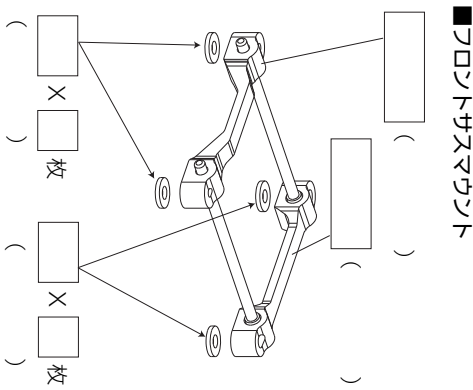
■フロントサスラウント

()

()

()

()



X 枚

X 枚

()

()

■フロントトー角

°

°

■フロントキャンパー角

°

■バッテリー

■フロントタイヤ、リンダ、ホイール

■アシヤスタラルチュアルクラッチ

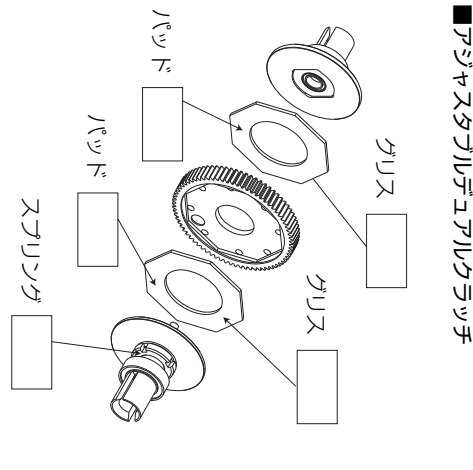
グリス

グリス

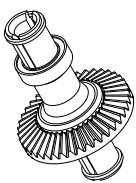
パッド

パッド

スプリング



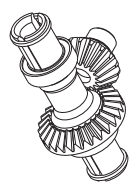
■リア駆動



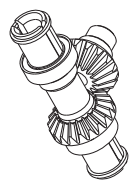
ホールドフ
樹脂製 (SD-501DS)
アルミ製 (SD-501DA)



ソリッドアスル
樹脂製 (SD-501SAS)
アルミ製 (SD-501SAA)

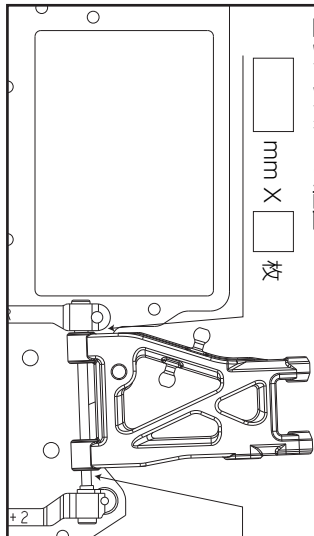


FDD
1.5倍 (D-049)
2倍 (D-051)



■リアサスアーム位置

mm X 枚

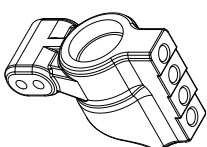


mm X 枚

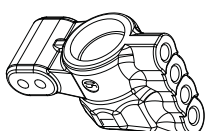
■サスアーム種類

- ☐ ノーサル
(SD-008H)
☐ グラフアイト
(SD-008HG)

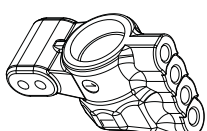
■リアハジキヤリア



☐ トーイン0°
(SD-415)



☐ トーイン0.5°
(SD-415R05)

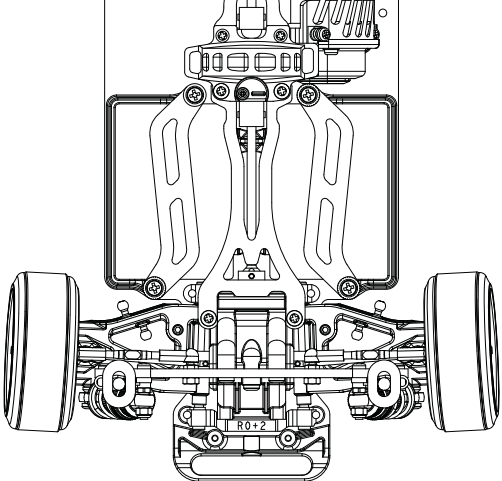


☐ トーイン1°
(SD-415R10)

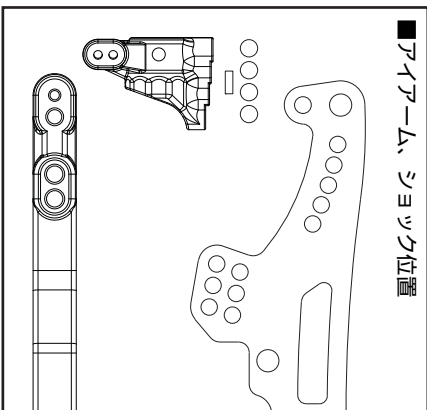
☐ TeamSUZUKI リアハジキヤリア トーイン0° (TS-2101)

☐ TeamSUZUKI リアハジキヤリア トーイン0.5° (TS-2106)

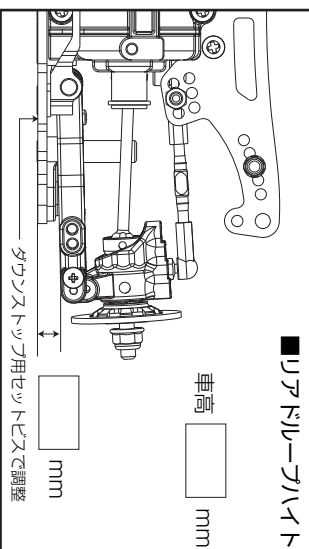
REAR



■アーム、ショック位置



■リアドレーブハイト

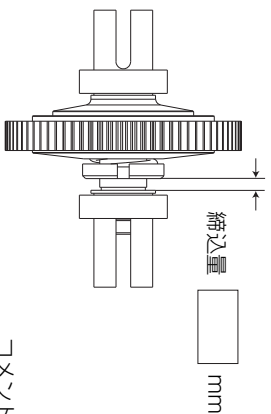


車高 mm

ダウンストッパ用セットピスで調整

■モーター、ESC

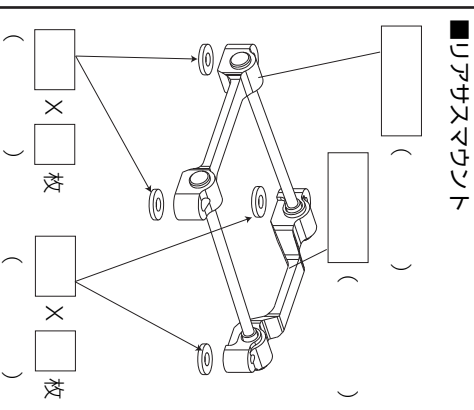
■リアタイヤ、リムダ、ホイール



締込量 mm

コメント

■リアサスマウント



■リアトー角

°

■リアキャンパー角

°

■リアダンパー

ダンパーオイル



- キヤツク
☐ エアレーション (YS-8Y)
☐ ダイヤクラム (YS-8D)



ピストン (YS-7-1)
☐ #1 ☐ #2 ☐ #3



シリンダー



- ☐ アラスチック (YS-4SSS-4)
☐ アルミ (YS-4SSS-6)



スアソツク



()



バネアストッパリムダ
 枚



スアソツクカッパ



- ☐ アラスチック (YS-6W)
☐ レイスピード (RS-15)



ショックエンド (YS-6W)



- ☐ ショート
☐ ロング



ダンパー全長 mm

AS A MANUFACTURER OF WORLD CHAMPIONSHIP WINNING CARS,
YOKOMO WILL CONTINUE TO PROVIDE THE BEST AVAILABLE TECHNOLOGY TO R/C ENTHUSIASTS ALL OVER THE WORLD.
ENJOY THIS PRODUCT KNOWING THAT YOU ARE DRIVING ONE OF THE BEST HANDLING R/C CARS EVER DESIGNED.



世界のブランド YOKOMO

ヨコモは競技用 R/C カー（ラジオコントロールカー）の専門メーカーです。その製品は、全日本選手権、全米選手権、ヨーロッパ選手権、そして R/C カーレースの最高峰である世界選手権レースでも優勝。世界の R/C カーマニアに愛用されています。